

更新又ハ變更アリタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ小形船舶乗組員手帳ヲ管海官廳ニ提出シテ其ノ證明ヲ受クルコトヲ要ス

前項ノ規定ハ命令ノ定ムル所ニ依リ雇傭契約ニ依ラズシテ乗組ム小形船舶乗組員ニ之ヲ準用ス

**第三條** 小形船舶乗組員、小形船舶乗組員タラントスル者、船舶所有者又ハ船長ハ小形船舶乗組員手帳ニ關シ必要アルトキハ小形船舶乗組員又ハ小形船舶乗組員タラントスル者ノ戸籍ニ關シ戸籍事務ヲ管掌スル者ハ其ノ代理者ニ對シ無償ニテ證明ヲ求ムルコトヲ得

**第四條** 管海官廳必要アリト認ムルトキハ船舶所有者又ハ小形船舶乗組員手帳ノ交付ヲ受ケタル者ニ出頭ヲ求メ又ハ其ノ者ヨリ報告ヲ徵スルコトヲ得

**第五條** 本法及本法ニ基キテ發スル命令中船舶所有者ニ關スル規定ハ船舶共有ノ場合ニ在リテ船舶管理人ヲ置キタルトキハ船舶管理人ニ、船舶貸借ノ場合ニ在リテハ船舶借入人ニ之ヲ適用ス

**第六條** 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ管海官廳ノ行フベキ事務ニ付テハ主務大臣ハ市町村長、町村制ヲ施行セザル地ニ在リテハ之ニ準ズル者ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得

**第七條** 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ六月以下ノ懲役又

ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 詐欺其ノ他ノ不正行爲ヲ以テ小形船舶乗組員手帳ノ交付ヲ受ケタル者

二 第二條ノ規定ニ違反シ證明ヲ受ケザル者

三 詐欺其ノ他ノ不正行爲ヲ以テ第二條ノ規定ニ依リ證明ヲ受ケタル者

**第八條** 第四條ノ規定ニ違反シ出頭ニ應ゼズ又ハ報告ヲ怠リ若ハ虚偽ノ報告ヲ爲シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

**第九條** 船舶所有者ハ其ノ代理人、戸主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ従業者ガ其ノ業務ニ關シ前條ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

**第十條** 第八條ノ罰則ハ船舶所有者ガ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

**第十一條** 國又ハ北海道、府縣、市町村其ノ他之ニ準ズベキモノノ所有ニ屬スル船舶ニ乗組ム小形船舶乗組員ニ付テハ命令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得  
本法及本法ニ基キテ發スル命令中船舶所有者ニ適用ス

ベキ罰則ハ國又ハ北海道、府縣、市町村其ノ他之ニ準ズベキモノニハ之ヲ適用セズ

附 則  
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

### 八、 雜

#### 大東亞戰爭ノ呼稱ニ關スル法律

對米英戰爭ハ支那事變をも包含して大東亞戰爭と呼ばれることになつたが、これに伴つて從來法律中に使はれてゐた支那事變といふ文字は抹消され、特別の場合を除くの外は大東亞戰爭と改稱されることになつたのである。

#### 大東亞戰爭ノ呼稱ニ關スル法律

(昭和十七年二月十七日)  
(法律 第九號)

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ帝國議會ノ協賛ヲ經タル大東亞戰爭ノ呼稱ヲ定メタルニ伴フ各法律中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲シタル場合ヲ除クノ外各法律中「支那事變」ヲ「大東亞戰爭」ニ改ム

附 則  
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

# 九、附 錄

## 國家總動員法

(昭和十三年四月一日)  
法律第五十五號

改正 昭和十六年三月一日法律第十九號

**第一條** 本令ニ於テ國家總動員トハ戰時(戰爭ニ準ズベキ事變ノ場合ヲ含ム以下之ニ同ジ)ニ際シ國防目的達成ノ爲國ノ全力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル様人的及物的資源ヲ統制運用スルヲ謂フ

**第二條** 本法ニ於テ總動員物資トハ左ニ掲グルモノヲ謂フ

- 一 兵器、艦艇、彈藥其ノ他ノ軍用物資
- 二 國家總動員上必要ナル被服、食糧、飲料及飼料
- 三 國家總動員上必要ナル醫藥品、醫療機械器具其ノ他ノ衛生用物資及家畜衛生用物資
- 四 國家總動員上必要ナル船舶、航空機、車輛、馬其ノ他ノ輸送用物資
- 五 國家總動員上必要ナル通信用物資
- 六 國家總動員上必要ナル土木建築用物資及照明用物資
- 七 國家總動員上必要ナル燃料及電力

- 八 前各號ニ掲グルモノノ生産、修理、配給又ハ保存ニ要スル原料、材料、機械器具、裝置其ノ他ノ物資
- 九 前各號ニ掲グルモノヲ除クノ外勅令ヲ以テ指定スル國家總動員上必要ナル物資

**第三條** 本法ニ於テ總動員業務トハ左ニ掲グルモノヲ謂フ

- 一 總動員物資ノ生産、修理、配給、輸出、輸入又ハ保管ニ關スル業務
- 二 國家總動員上必要ナル運輸又ハ通信ニ關スル業務
- 三 國家總動員上必要ナル金融ニ關スル業務
- 四 國家總動員上必要ナル衛生、家畜衛生又ハ救護ニ關スル業務
- 五 國家總動員上必要ナル教育訓練ニ關スル業務
- 六 國家總動員上必要ナル試驗研究ニ關スル業務
- 七 國家總動員上必要ナル情報又ハ啓發宣傳ニ關スル業務
- 八 國家總動員上必要ナル警備ニ關スル業務
- 九 前各號ニ掲グルモノヲ除クノ外勅令ヲ以テ指定スル國家總動員上必要ナル業務

**第四條** 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ帝國臣民ヲ徵用シテ總動員業務ニ從事セシムルコトヲ得但シ兵役法ノ適用ヲ妨グズ

**第五條** 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ帝國臣民及帝國法人其ノ他ノ團體ヲシテ國又ハ地方公共團體又ハ政府ノ指定スル者ノ行フ總動員業務ニ付協力セシムルコトヲ得

**第六條** 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ從業員ノ使用、雇入若ハ解雇、就職、從業若ハ退職又ハ賃金、給料其ノ他ノ從業條件ニ付必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

**第七條** 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞働爭議ノ豫防若ハ解決ニ關シ必要ナル命令ヲ爲シ又ハ作業所ノ閉鎖、作業若ハ勞務ノ中止其ノ他ノ勞働爭議ニ關スル行爲ノ制限若ハ禁止ヲ爲スコトヲ得

**第八條** 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ物資ノ生産、修理、配給、讓渡其ノ他ノ處分、使用、消費、所持及移動ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

**第九條** 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ輸出若ハ輸入ノ制限若ハ禁止ヲ爲シ、輸出若ハ輸入ヲ命ジ、輸出税若ハ輸入税ヲ課シ又ハ輸出税若ハ輸入税ヲ増課若ハ減免スルコトヲ得

**第十條** 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ

附錄 (國家總動員法)

勅令ノ定ムル所ニ依リ總動員物資使用若ハ收用シ又ハ總動員業務ヲ行フ者ヲシテ之ヲ使用若ハ收用スルコトヲ得

**第十一條** 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ會社ノ設立、資本ノ増加、合併、目的變更、社債ノ募集若ハ第二回以後ノ株金ノ拂込ニ付制限若ハ禁止ヲ爲シ、會社ノ利益金ノ處分、償却其ノ他經理ニ關シ必要ナル命令ヲ爲シ又ハ銀行、信託會社、保險會社、其ノ他勅令ヲ以テ指定スル者ニ對シ資金ノ運用、債務ノ引受若ハ債務ノ保證ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

**第十二條** 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ總動員業務タル事業ヲ營ム會社ノ當該事業ニ關スル設備ノ費用ニ充ツル爲メノ社債ノ募集又ハ資本ノ増加ニ付商法第二百十條ノ規定ニ拘ラズ勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

**第十三條** 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ總動員業務タル事業ニ屬スル工場、事業場、船舶其ノ他ノ施設又ハ之ニ轉用スルコトヲ得ル施設ノ全部又ハ一部ヲ管理、使用又ハ收用スルコトヲ得

政府ハ前項ニ掲グルモノヲ使用又ハ收用スル場合ニ於

テ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ從業者ヲ供用セシメ又ハ當該施設ニ於テ現ニ實施スル特許發明若ハ登錄實用新案ヲ實施スルコトヲ得

政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ總動員業務ニ必要ナル土地若ハ家屋其ノ他ノ工作物ヲ管理、使用若ハ收用シ又ハ總動員業務ヲ行フ者ヲシテ之ヲ使用若ハ收用セシムルコトヲ得

第十四條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ鑛業權、砂鑛權及水ノ使用ニ關スル權利ヲ使若ハ收用シ又ハ總動員業務ヲ行フ者ヲシテ特許發明及登錄實用新案ヲ實施セシメ若ハ鑛業權、砂鑛權及水ノ使用ニ關スル權利ヲ使用セシメルコトヲ得

第十五條 前二條ノ規定ニ依リ政府ノ收用シタルモノ不用ニ歸シタル場合ニ於テ收用シタル時ヨリ十年内ニ拂下グルトキ又ハ第十三條第三項ノ規定ニ依リ總動員業務ヲ行フ者ノ收用シタルモノノ收用シタル時ヨリ十年内ニ不用ニ歸シタルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ舊所有者若ハ舊權利者又ハ其ノ一般承繼人ハ優先ニ之ヲ買受タルコトヲ得

第十六條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ事業ニ屬スル設備ノ新設、擴

張若ハ改良ヲ制限若ハ禁止シ又ハ總動員業務タル事業ニ屬スル設備ノ新設、擴張若ハ改良ヲ命ズルコトヲ得

第十六條ノ二 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ事業ニ屬スル設備又ハ權利ノ讓渡其ノ他ノ處分、出資、使用又ハ移動ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十六條ノ三 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ事業ノ開始、委託、共同經營、讓渡、廢止若ハ休止又ハ法人ノ目的變更、合併若ハ解散ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十七條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ同種若ハ異種ノ事業ノ事業主間ニ於ケル當該事業ニ關スル統制協定ノ設定、變更若ハ廢止ニ付認可ヲ受ケシメ、統制協定ノ設定、變更若ハ取消ヲ命ジ又ハ統制協定ノ加盟者若ハ其ノ統制協定ニ加盟セザル事業主ニ對シ其ノ統制協定ニ依ルベキコトヲ命ズルコトヲ得

第十八條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ同種若ハ異種ノ事業ノ事業主又ハ其ノ團體ニ對シ當該事業ノ統制又ハ統制ノ爲ニスル經營ヲ目的トスル團體又ハ會社ヲ設立ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ命令ニ依リ設立セラルル團體ハ法人トス

渡若ハ法人ノ合併又ハ第十八條第一項若ハ第三項ノ規定ニ依リ設立セラルル團體若ハ會社ニ付テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ課稅標準ノ計算ニ關スル特例ヲ設ケ又ハ租稅ノ減免ヲ爲スコトヲ得

第一項ノ團體成立シタルトキハ政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ當該團體ノ構成員タル資格ヲ有スル者ヲシテ其ノ團體ノ構成員タラシムルコトヲ得

第十九條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ價格、運送賃、保管料、保險料、賃賃料又ハ加工賃、修繕料其他ノ財產的給付ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

政府ハ第一項ノ團體ニ對シ其ノ構成員(其ノ構成員ノ構成員ヲ含ム以下之ニ同ジ)ノ事業ニ關スル統制規程ノ設定、變更若ハ廢止ニ付認可ヲ受ケシメ、統制規程ノ設定若ハ變更ヲ命ジ又ハ其ノ構成員若ハ構成員タル資格ヲ有スル者ニ對シ團體ノ統制規程ニ依ルベキコトヲ命ズルコトヲ得

第二十條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ新聞紙其ノ他ノ出版物ノ掲載ニ付制限又ハ禁止ヲ爲スコトヲ得

第一項ノ團體又ハ會社ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十一條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ帝國臣民及帝國臣民ヲ雇傭若ハ使用スル者ヲシテ帝國臣民ノ職業能力ニ關スル事項ヲ申告セシメ又ハ帝國臣民ノ職業能力ニ關シ検査スルコトヲ得

第十八條ノ三 第十六條ノ二ノ規定ニ依リ設備若ハ權利ノ讓渡若ハ出資、第十六條ノ三ノ規定ニ依ル事業ノ讓

第二十二條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ學校、養成所、工場、事業場其ノ他技能者ノ養成ニ適スル施設ノ管理者又ハ養成セラルベキ

者ノ雇傭主ニ對シ國家總動員上必要ナル技能者ノ養成ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

**第二十三條** 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ總動員物資ノ生産、販賣又ハ輸入ヲ業トスル者ヲシテ當該物資又ハ其ノ原料若ハ材料ノ一定數量ヲ保有セシムルコトヲ得

**第二十四條** 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ總動員業務タル事業ノ事業主又ハ戰時ニ際シ總動員業務ヲ實施セシムベキ者ヲシテ戰時ニ際シ實施セシムベキ總動員業務ニ關スル計畫ヲ設定セシメ又ハ當該計畫ニ基キ必要ナル演練ヲ爲サシムルコトヲ得

**第二十五條** 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ總動員物資ノ生産若ハ修理ヲ業トスル者又ハ試驗研究機關ノ管理者ニ對シ試驗研究ヲ命ズルコトヲ得

**第二十六條** 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ總動員物資ノ生産又ハ修理ヲ業トスル者ニ對シ豫算ノ範圍内ニ於テ一定ノ利益ヲ保證シ又ハ補助金ヲ交付スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ政府ハ其ノ者ニ對シ總動員物資ノ生産若ハ修理ヲ爲サシメ又ハ國家總動員上必要ナル設備ヲ爲サシムルコトヲ得

**第二十七條** 政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ第八條、第十

條、第十三條、第十四條若ハ第十六條ノ二ノ規定ニ依ル處分、第九條ノ規定ニ依ル輸出若ハ輸入ノ命令、第十一條ノ規定ニ依ル資金ノ融通、有價證券ノ應募、引受若ハ買入、債務ノ引受若ハ債務ノ保證ノ命令、第十六條ノ規定ニ依ル設備ノ新設、擴張若ハ改良ノ命令又ハ第十六條ノ三ノ規定ニ依ル事業ノ委託、讓渡、廢止若ハ休止若ハ法人ノ目的變更若ハ解散ノ命令ニ因リ生ジタル損失ヲ補償ス但シ第二項ノ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

總動員業務ヲ行フ者ハ第十條、第十三條第三項又ハ第十四條ノ規定ニ依リ使用、收用又ハ實施ヲ爲ス場合ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ニ因リ生ジタル損失ヲ補償スベシ

**第二十八條** 政府ハ第二十二條、第二十三條又ハ第二十五條ノ規定ニ依リ命令ヲ爲ス場合ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ニ因リ生ジタル損失ヲ補償シ又ハ補助金ヲ交付ス

**第二十九條** 前二條ノ規定ニ依ル補償ノ金額及第十五條ノ規定ニ依ル買受ノ價額ハ總動員補償委員會ノ議ヲ經テ政府之ヲ定ム

**第三十條** 政府ハ第二十六條又ハ第二十八條ノ規定ニ依

リ利益ノ保證又ハ補助金ノ交付ヲ受クル事業ヲ監督シ之ガ爲必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

**第三十一條** 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

**第三十二條** 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ十年以下ノ懲役又ハ五萬圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第八條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

二 第十九條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

**第三十三條** 第九條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ輸出又ハ輸入ヲ爲シ又ハ爲サントシタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ一萬圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ場合ニ於テ輸出又ハ輸入ヲ爲シ又ハ爲サントシタル物ニシテ犯人ノ所有シ又ハ所持スルモノハ之ヲ沒收スルコトヲ得若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハザルトキハ其ノ價額ヲ追徴スルコトヲ得

**第三十四條** 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第七條ノ規定ニ依ル命令又ハ制限若ハ禁止ニ違反シタル者

二 第九條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ輸出又ハ輸入ヲ

爲サザル者

三 第十條ノ規定ニ依ル總動員物資ノ使用又ハ收用ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者

四 第十三條ノ規定ニ依ル施設、土地若ハ工作物ノ管理、使用若ハ收用又ハ從業者ノ併用ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者

**第三十四條** 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第十一條ノ規定ニ依ル制限若ハ禁止又ハ命令ニ違反シタル者

二 第十六條ノ規定ニ依ル制限若ハ禁止又ハ命令ニ違反シタル者

三 第十六條ノ二ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

四 第十六條ノ三ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

五 第十七條若ハ第十八條第五項ノ規定ニ違反シ認可ヲ受ケズシテ統制協定若ハ統制規程ヲ設定、變更若ハ廢止シ又ハ第十七條若ハ第十八條第五項ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

六 第二十三條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ保有ヲ爲サザル者

七 第二十六條ノ規定ニ違反シ生産、修理又ハ設備ヲ爲サザル者

**第三十五條** 前四條ノ罪ヲ犯シタル者ニハ情狀ニ因リ懲役及罰金ヲ併科スルコトヲ得

**第三十六條** 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第四條ノ規定ニ依ル徵用ニ應ゼズ又ハ同條ノ規定ニ依ル業務ニ從事セザル者

二 第六條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

**第三十七條** 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第二十二條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

二 第二十四條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ計畫ノ設定又ハ演練ヲ爲サザル者

三 第二十五條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ試験研究ヲ爲サザル者

**第三十八條** 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第十八條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ團體又ハ會社ノ設立ヲ爲サザル者

二 第十八條第六項ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

三 第三十條ノ規定ニ依ル命令又ハ處分ニ違反シタル者

四 第三十一條ノ規定ニ依ル報告ヲ怠リ又ハ虚偽ノ報告ヲ爲シタル者

公務員又ハ其ノ職ニ在リタル者職務上知得シタル當該官廳指定ノ總動員業務ニ關スル官廳ノ機密ヲ漏泄又ハ竊用シタルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス

**第四十五條** 公務員又ハ其ノ職ニ在リタル者本法ノ規定ニ依ル職務執行ニ關シ知得シタル法人又ハ人ノ業務上ノ秘密ヲ漏泄又ハ竊用シタルトキハ二年以下ノ懲役又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十八條第一項又ハ第三項ノ規定ニ依リ事業ノ統制ヲ目的トシテ設立セラレタル團體又ハ會社其ノ他本法ニ依ル命令ニ依リ統制ヲ爲ス法人其ノ他ノ團體ノ役員若ハ使用人又ハ職ニ在リタル者其業務執行ニ關シ知得シタル法人又ハ人ノ業務上ノ秘密ヲ漏泄又ハ竊用シタルトキ亦前項ニ同ジ

**第四十六條** 第十八條第一項又ハ第三項ノ規定ニ依リ事業ノ統制ヲ目的トシテ設立セラレタル團體又ハ會社其ノ他本法ニ依ル命令ニ依リ統制ヲ爲ス法人其ノ他ノ團體ノ役員又ハ使用人其ノ擔當スル統制事務ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求若ハ約束シタルトキハ二年以下ノ懲役ニ處ス因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲サザルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ場合ニ於テ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收ス若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハザルトキハ其ノ價額ヲ追徵ス

**第四十七條** 前條第一項ニ掲グル者ニ對シ賄賂ヲ交付、提供又ハ約束シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキハ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

**第四十八條** 法人ノ代表者又ハ法人若ハ人ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業者其ノ法人又ハ人ノ業務ニ關シ第三十一條ノ二乃至第三十四條、第三十六條第二、第三十七條、第三十八條又ハ第四十三條前段ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ行爲者ヲ罰スルノ外其ノ法人又ハ人ニ對シ各本條ノ罰金刑又ハ科料刑ヲ科ス

**第四十九條** 前條ノ規定ハ本法施行地ニ本店又ハ主たる事務所ヲ有スル法人ノ代表者、代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ本法施行地外ニ於テ爲シタル行爲ニモ之ヲ適用ス本法施行地ニ住所ヲ有スル人ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ本法施行地外ニ於テ爲シタル行爲ニ付亦同ジ

本法ノ罰則ハ本法施行地外ニ於テ罪ヲ犯シタル帝國臣民ニモ之ヲ適用ス

**第五十條** 本法施行ニ關スル重要事項(軍機ニ關スルモノヲ除ク)ニ付政府ノ諮問ニ應ズル爲國家總動員審議

告ヲ爲シタル者

**第三十九條** 第二十條第一項ノ規定ニ依ル制限又ハ禁止ニ違反シタルトキハ新聞紙ニ在リテハ發行人及編輯人其ノ他ノ出版物ニ在リテハ發行者及著作者ヲ二年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

新聞紙ニ在リテハ編輯人以外ニ於テ實際編輯ヲ擔當シタル者及掲載ノ記事ニ署名シタル者亦前項ニ同ジ

**第四十條** 第二十條第二項ノ規定ニ依ル差押處分ノ執行ヲ妨害シタル者ハ六月以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

**第四十一條** 前二條ノ罪ニハ刑法併合罪ノ規定ヲ適用セズ

**第四十二條** 第三十一條ノ規定ニ依ル當該官吏ノ検査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

**第四十三條** 第二十一條ノ規定ニ違反シテ申告ヲ怠リ又ハ検査ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ拘留若ハ科料ニ處ス

**第四十四條** 總動員業務ニ從事シタル者其ノ業務遂行ニ關シ知得シタル當該官廳指定ノ總動員業務ニ關スル官廳ノ機密ヲ漏泄又ハ竊用シタルトキハ二年以下ノ懲役又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

附錄 (國家總動員法)

一九八

會ヲ置ク

國家總動員審議會ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附 則

本法施行期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

軍需工業動員法及昭和十二年法律第八十八號ハ之ヲ廢止ス

本法施行前軍需工業動員法ニ基キテ爲シタル命令又ハ處分ハ之ヲ本法中ノ相當規定ニ基キテ爲シタルモノト看做ス

軍需工業動員法ニ違反シタル者ノ處罰ニ付テハ仍舊法ニ依ル

附 則

(昭和十六年三月一日)  
法律第十九號

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

國家總動員法ノ施行ニ關スル件

(昭和十四年九月三十日)  
勅令第六百七十二號

第一條 各省大臣又ハ朝鮮總督、臺灣總督、滿洲國駐劄特命全權大使、樺太廳長官若ハ南洋廳長官國家總動員法(關東州國家總動員令及昭和十三年勅令第三百十七號ヲ含ム以下之ニ同ジ)ノ施行ニ必要ナル命令ヲ發シ又ハ之ヲ廢止、變更セントスルトキハ内閣總理大臣ニ

協議スベシ

第二條 内閣總理大臣ハ關係各廳ニ對シ國家總動員法ノ施行ニ關スル事項ニ付統轄上必要ナル指示ヲ爲スコトヲ得

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

國家總動員法朝鮮、臺灣及樺太ニ施行ノ件

(昭和十三年五月四日)  
勅令第三百十六號

國家總動員法ハ之ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行ス

附 則

本令ハ昭和十三年五月五日ヨリ之ヲ施行ス

南洋群島ニ於ケル國家總動員ニ關スル件

(昭和十三年五月四日)  
勅令第三百十七號

朕南洋群島ニ於ケル國家總動員ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

南洋群島ニ於ケル國家總動員ニ關シテハ國家總動員法ニ依ル

附 則

本令ハ昭和十三年五月五日ヨリ之ヲ施行ス

關東州國家總動員令

(昭和十四年八月二十二日)  
勅令第六百九號

第一條 關東州ニ於ケル國家總動員ニ關シテハ本令ニ規定スルモノヲ除ク外、國家總動員法ニ依ル但シ同法第五十條ノ規定ハ此ノ限ニ在ラズ

第二條 國家總動員法第五條、第二十三條及第二十六條中勅令トアルハ軍機保護上其ノ他軍事上特ニ必要アル場合ニ在リテハ陸軍省令又ハ海軍省令トシ其ノ他ノ場合ニ在リテハ關東局令トス

第三條 國家總動員法中帝國臣民ニ關スル規定ハ關東州ニ居住スル帝國臣民ニ非ザル者ニ關シ之ヲ準用ス

附 則

本令ハ昭和十四年九月十一日ヨリ之ヲ施行ス

大正七年勅令第三百六十九號及昭和十二年勅令第六百四號ハ之ヲ廢止ス

輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル法律

(昭和十二年九月十日)  
法律第九十二號

改正 昭和十三年五月二十四日法律第八十五號

昭和十六年三月一日法律第二十號

第一條 政府ハ支那事變ニ關聯シ國民經濟ノ運行ヲ確保スル爲テニ必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ物品ヲ指定シ輸出又ハ輸入ノ制限又ハ禁止ヲ爲スコトヲ得

第二條 政府ハ支那事變ニ關聯シ國民經濟ノ運行ヲ確保スル爲テニ必要アリト認ムルトキハ輸入ノ制限其ノ他ノ事由ニ因リ需給關係ノ調整ヲ必要トスル物品ニ付左ノ措置ヲ爲スコトヲ得

一 命令ノ定ムル所ニ依リ當該物品ヲ原料トスル製品ノ製造ニ關シ必要ナル事項ヲ命ジ又ハ制限ヲ爲スコト

二 當該物品又ハ之ヲ原料トスル製品ノ配給、讓渡、使用又ハ消費ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコト

第二條ノ二 前條ノ物品ノ需給ニ關係アル産業ヲ營ム者又ハ其ノ組織スル團體ハ當該物品ノ需給關係ヲ調整スル爲政府ノ認可ヲ受ケ需給調整協議會ヲ組織スルコトヲ得

附錄 (輸出入品等臨時措置法)

一九九

附錄 (輸出入品等臨時措置法)

前項ノ者需給調整協議會ヲ組織セザル場合ニ於テ政府ハ支那事變ニ關聯シ國民經濟ノ運行ヲ確保スル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ前項ノ者ニ對シ需給調整協議會ノ組織ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ組織ヲ命ゼラレタル者其ノ認可ヲ申請セザルトキハ政府ハ規約ノ作成其ノ他組織ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得需給調整協議會ノ成立アリタルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員タル資格ヲ有スル者ハ其ノ會員トス

**第二條ノ三** 政府ハ支那事變ニ關聯シ國民經濟ノ運行ヲ確保スル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ需給調整協議會ニ對シ當該物品ノ需給關係ノ調整ニ關シ必要ナル決定ヲ爲スベキコトヲ命ジ又ハ需給調整協議會ノ會員ニ對シ需給調整協議會ノ決定ニ從フベキコトヲ命ズルコトヲ得

**第二條ノ四** 本法ニ定ムルモノノ外需給調整協議會及需給調整協議會ニ依リ需給關係ノ調整ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

**第三條** 政府ハ第一條ノ制限若ハ禁止又ハ第二條ノ命令若ハ處分ニ關係アル事項ニ付報告ヲ徴シ又ハ帳簿其ノ他ノ検査ヲ爲スコトヲ得

**第四條** 第一條ノ規定ニ依リテ爲ス制限又ハ禁止ニ違反

シテ輸出又ハ輸入ヲ爲シ又ハ爲サントシタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ一萬圓以下ノ罰金ニ處ス  
前項ノ場合ニ於テハ輸出又ハ輸入ヲ爲シ又ハ爲サントシタル物品ニシテ犯人ノ所有シ又ハ所持スルモノヲ沒收スルコトヲ得若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハザルトキハ其ノ價額ヲ追徴スルコトヲ得

**第五條** 第二條ノ規定ニ依ル命令若ハ處分又ハ其ノ命令ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタル者ハ七年以下ノ懲役又ハ五萬圓以下ノ罰金ニ處ス

**第五條ノ二** 前二條ノ罪ヲ犯シタル者ニハ情狀ニ因リ懲役及罰金ヲ併科スルコトヲ得

**第六條** 第三條ノ規定ニ違反シ報告ヲ爲サズ、虛偽ノ報告ヲ爲シ又ハ検査ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シタル者ハ六月以下ノ禁錮又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ政府ニ提出スル許可ノ申請書其ノ他ノ書類ニ虛偽ノ記載ヲ爲シタル者亦同ジ

**第七條** 法人ノ代表者又ハ法人若ハ人ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ其ノ法人又ハ人ノ業務ニ關シテ前三項ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ行爲者ヲ罰スルノ外其ノ法人又ハ人ニ對シ亦第四條、第五條又ハ第六條ノ罰金刑ヲ科ス

**第八條** 前五條ノ罰則ハ本法施行地ニ本店又ハ主たる事

附 則 (昭和十三年五月二十四日) 法律第八十五號

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附 則 (昭和十六年三月一日) 法律第二十號

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

務所ヲ有スル法人ノ代表者、代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ本法施行地外ニ於テ爲シタル行爲ニモ之ヲ適用ス本法施行地ニ住所ヲ有スル人又ハ其ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ本法施行地外ニ於テ爲シタル行爲ニ付亦同ジ

**第九條** 本法ニ依ル命令ニ依リ統制ヲ爲ス法人其ノ他ノ團體ノ役員又ハ使用人其ノ擔當スル統制事務ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求若ハ約束シタルトキハ二年以下ノ懲役ニ處ス因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲サザルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ場合ニ於テ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收ス若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハザルトキハ其ノ價額ヲ追徴ス

本條ノ罪ハ刑法第四條ノ例ニ從フ

**第十條** 前條第一項ニ掲グル者ニ對シ賄賂ヲ交付、提供又ハ約束シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキハ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本法ハ支那事變終了後一年內ニ之ヲ廢止スルモノトス

附錄 (輸出入品等臨時措置法)

物資統制令 (昭和十六年十二月十五日)

勅令 第一千三百三十號

第一條 國家總動員法(昭和十三年勅令第三百十七號)於テ依ル場合ヲ含ム以下同ジ)第八條ノ規定ニ基ク國民經濟ノ運行又ハ國民生活ノ安定ヲ確保スル爲メ統制ヲ必要トスル物資(統制物資ト稱ス)ニ關スル統制及其ノ統制事務ニ付テハ國家總動員法第五條ノ規定ニ基ク協力命令ニ付テハ別ニ定ムルモノヲ除ク外本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 主務大臣ハ統制物資ノ生産(加工ヲ含ム以下同ジ)若ハ修理ヲ業トスル者又ハ此等ノ者ノ團體ニ對シ統制物資ノ生産若ハ修理ニ關シ必要ナル事項ヲ命ジ又ハ制限若ハ禁止ヲ爲スコトヲ得

第三條 主務大臣ハ統制物資ノ生産ヲ業トスル者、販賣其ノ他賣渡ヲ業トスル者、輸出業者、輸入業者若ハ此等ノ者ノ團體又ハ業務ニ關シ又ハ轉賣ノ目的ヲ以テ統制物資ヲ所有スル者ニ對シ讓渡ノ時期、價格、相手方其ノ他必要ナル事項ヲ指定シテ統制物資ノ讓渡ヲ命ズルコトヲ得

主務大臣特ニ必要アリト認ムル場合ニ於テハ前項ニ掲グル者以外ノ者ニシテ統制物資ヲ所有スルモノニ對シ亦前項ニ同ジ

第四條 主務大臣前條ノ規定ニ依ル命令ヲ爲シタル場合又ハ統制物資ノ所有者知レザル等ノ爲同條ノ規定ニ依ル命令ヲ爲スコト能ハザル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ權原ニ基キ當該統制物資ヲ占有スル者ニ對シ引渡ノ時期、相手方其ノ他必要ナル事業ヲ指定シテ之ガ引渡ヲ命ズルコトヲ得

第五條 主務大臣統制物資ノ所有者知レザル等ノ爲第三條ノ規定ニ依ル命令ヲ爲スコト能ハザル場合ニ於テ前條ノ規定ニ依ル命令ヲ爲シタルトキハ當該統制物資ノ引渡ノ相手方ヲシテ其ノ對價ヲ供託セシムベシ此ノ場合ニ於テハ當該統制物資ノ引渡ノ相手方其ノ供託ヲ爲シタル時當該統制物資ノ讓渡ヲ受ケタルモノト看做ス

第六條 統制物資ノ生産ヲ業トスル者、販賣其ノ他賣渡ヲ業トスル者輸出業者、輸入業者若ハ此等ノ者ノ團體又ハ業務ニ關シ若ハ轉賣ノ目的ヲ以テ統制物資ヲ所有スル者ハ主務大臣ノ指定スル者ガ讓渡ヲ受ケベキ統制物資ノ種類、數量及價格、讓渡ノ時期其ノ他必要ナル事項ニ付主務大臣ノ認可ヲ受ケ之ガ讓渡ヲ求メタル場合ニ於テハ之ヲ拒ムコトヲ得ズ但シ特別ノ事由アル場合ニ於テ主務大臣ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

主務大臣前項ノ認可ヲ爲シタルトキハ其ノ事ヲ告示ス

ベシ

第七條 權限ニ基キ統制物資ヲ占有スル者ハ前條ノ規定ニ依リ主務大臣ノ指定スル者ガ同條ノ規定ニ依リ統制物資ノ讓渡ヲ受ケタル場合又ハ統制物資ノ所有者知レザル等ノ爲同條ノ規定ニ依リ讓渡ヲ求ムルコト能ハザル場合ニ於テ引渡ヲ受ケル統制物資ノ種類及數量、引渡ノ時期其ノ他必要ナル事項ニ付主務大臣ノ認可ヲ受ケ之ガ引渡ヲ求メタル場合ニ於テハ之ヲ拒ムコトヲ得ズ但シ特別ノ事由アル場合ニ於テ主務大臣ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八條 第六條ノ規定ニ依リ主務大臣ノ指定スル者ハ統制物資ノ所有者知レザル等ノ爲同條ノ規定ニ依リ讓渡ヲ求ムルコト能ハザル場合ニ於テ前條ノ規定ニ依リ統制物資ノ引渡ヲ受クトキハ其ノ對價ヲ供託スベシ

第五條後段ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第九條 主務大臣ハ統制物資ノ生産ヲ業トスル者、販賣其ノ他賣渡ヲ業トスル者、輸出業者、輸入業者若ハ此等ノ者ノ團體又ハ業務ニ關シ若ハ轉賣ノ目的ヲ以テ統制物資ヲ所有スル者ニ對シ統制物資ノ讓渡ニ關シ數量時期、方法、相手方、配給區域其ノ他ニ付必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十條 主務大臣ハ統制物資ノ讓受ニ關シ數量、時期、方法、相手方其ノ他ニ付必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十一條 主務大臣ハ統制物資ノ寄託、保管、保有、質入其ノ他ノ處分又ハ移動ニ關シ必要ナル事項ヲ命ジ又ハ制限若ハ禁止ヲ爲スコトヲ得

第十二條 統制物資ニ關シ強制競賣手續、國稅徵收法ニ依リ強制徵收手續又ハ國家總動員法第十條若ハ第十三條ノ規定ニ基ク使用若ハ收用ノ手續其ノ他此等ノ手續ニ準ズベキモノノ進行中ナルトキハ其ノ進行中ニ限り當該統制物資ニ關シテハ第二條乃至第四條、第六條、第七條又ハ第九條乃至前條ノ規定ハ之ヲ適用セズ

第十三條 第三條、第五條、第六條又ハ第八條ノ規定ニ依リ統制物資ノ讓渡ハ他ノ法令ニ拘ラズ其ノ效力ヲ有ス

第三條ノ規定ニ依リ讓渡ヲ命ゼラレ又ハ第六條ノ規定ニ依リ讓渡ヲ求メラレタル統制物資ガ知レタル擔保權ノ目的タル場合ニ於テハ當該統制物資ノ讓渡ヲ受ケル者ハ其ノ對價ヲ供託スベシ

第三條若ハ第六條又ハ第四條若ハ第七條ノ規定ニ依リ統制物資ノ讓渡又ハ引渡アリタル場合ニ於テハ當該統制物資ニ付存シタル擔保權ハ他ノ法令ニ拘ラズ其ノ所有權移轉ノ時ヨリ之ヲ行フコトヲ得ズ



第三條若ハ第四條ノ規定ニ依リ讓渡若ハ引渡ヲ命ゼラレ又ハ第六條若ハ第七條ノ規定ニ依リ讓渡若ハ引渡ヲ求メラレタル統制物資ニ付擔保權ヲ有シタル者ハ第五條、第八條又ハ第二項ノ規定ニ依リ供託金ニ對シ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

**第十四條** 主務大臣ハ統制物資ノ生産若ハ修理ヲ業トスル者、販賣其ノ他配給ヲ業トスル者、保管ヲ業トスル者若ハ業務上統制物資ノ使用若ハ消費ヲ爲ス者又ハ此等ノ者ノ團體ニ對シ統制物資ノ生産若ハ修理、販賣其ノ他ノ配給、保管、保有、移動又ハ使用若ハ消費ニ關シ計畫ノ設定又ハ其ノ變更ヲ命ズルコトヲ得

**第十五條** 主務大臣ハ統制物資ノ使用又ハ消費ヲ爲ス者ニ對シ統制物資ノ使用又ハ消費ニ關シ必要ナル事項ヲ命ジ又ハ制限若ハ禁止ヲ爲スコトヲ得

**第十六條** 主務大臣ハ統制物資ノ生産若ハ修理ヲ業トスル者、販賣其ノ他配給ヲ業トスル者、輸出業者、輸入業者、保管ヲ業トスル者若ハ業務上統制物資ノ使用若ハ消費ヲ爲ス者又ハ此等ノ者ノ團體ニ對シ帳簿ヲ備ヘ業務ニ關シ必要ナル事項ノ眞實ナル記載ヲ爲サシムルコトヲ得

**第十七條** 第六條ノ規定ニ依リ主務大臣ノ指定スル者同條又ハ第七條ノ認可ヲ受ケ統制物資ノ讓渡又ハ引渡ヲ

求メントスル場合ニ於テ主務大臣ノ認可ヲ受ケ當該統制物資ノ生産若ハ修理ヲ業トスル者、販賣其ノ他配給ヲ業トスル者、輸出業者、輸入業者、保管ヲ業トスル者若ハ業務上統制物資ノ使用若ハ消費ヲ爲ス者又ハ此等ノ者ノ團體ニ對シ必要ナル報告ヲ求メタル場合ニ於テハ此等ノ者又ハ其ノ團體ハ之ヲ拒ミ又ハ虚偽ノ報告ヲ爲スコトヲ得ズ

**第十八條** 國家總動員法第二十七條ノ規定ニ依リ補償スベキ損失ハ第二條、乃至第四條、第六條、第七條、第九條乃至第十一條又ハ第十五條ノ規定ニ基ク處分ニ因ル通常生ズベキ損失トス

前項ノ損失ノ補償ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

**第十九條** 主務大臣ハ個人又ハ法人其ノ他ノ團體ヲシテ本令ニ依リ統制物資ノ統制上必要ナル業務ニ協力セシムルコトヲ得

**第二十條** 主務大臣ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ關係者ヨリ統制物資ニ關スル統制又ハ其ノ統制事務ニ付テノ協力ニ關シ必要ナル報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ工場、事業場、店舗、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ統制物資、書類、帳簿等ヲ検査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢検査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

**第二十一條** 主務大臣ハ本令ニ定ムル職權ノ一部ヲ地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監ヲ含ム)又ハ當該主務大臣ノ所轄スル官衙ノ長ニ委任スルコトヲ得

**第二十二條** 主務大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ必要アリト認ムルトキハ市町村長又ハ之ニ準ズベキモノヲシテ本令ニ依リ統制物資ニ關スル統制ノ實施上必要ナル事務ヲ行ハシムルコトヲ得

前項ノ事務ニ關スル費用ハ命令ノ定ムル所ニ依リ市町村又ハ之ニ準ズベキモノヲシテ之ヲ負擔セシムルコトヲ得

**第二十三條** 内地ニ於テ本令中第十一條及第十四條ノ規定ニ依ル保管ニ關スル命令又ハ處分及之ニ必要ナル他ノ規定ノ施行ニ關スル主務大臣ハ物品ノ保管ヲ業トスル者ヲ其ノ業ニ關スル法令ニ依リ監督スル所管大臣アルトキハ當該所管大臣トス

**第二十四條** 第二十一條中地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監ヲ含ム)ニ關スル規定ハ樺太及南洋群島ニハ之ヲ適用セズ

**第二十五條** 本令中主務大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺

太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トシ第二十一條中地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監ヲ含ム)トアルハ朝鮮ニ在リテハ道知事、臺灣ニ在リテハ州知事又ハ廳長トス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
生活必需物資統制令ハ之ヲ廢止ス但シ本令施行前ニ爲シタル行爲ニ關スル罰則ノ適用ニ付テハ本令施行後ト雖モ仍其ノ效力ヲ有ス

本令施行前生活必需物資統制令ニ基キテ發シ若ハ爲シタル命令若ハ處分又ハ當該命令ニ基キテ爲シタル命令若ハ處分ハ之ヲ本令中ノ相當規定ニ基キテ發シ若ハ爲シタル命令若ハ當該命令ニ基キテ爲シタル命令若ハ處分ト看做ス

臨時資金調整法 (昭和十二年九月十日)

法律第八十六號

改正 昭和十四年四月二十一日法律第八十六號

昭和十六年三月一日法律第十八號

昭和十七年三月三十一日法律第八十四號

第一條 本法ハ支那事變ニ關聯シ物資及資金ノ需給ノ適合ニ資スル爲メ國內資金ノ使用ヲ調整スルヲ目的トス

第二條 銀行、信託會社、保險會社、産業組合中央金庫、商工組合中央金庫、戰時金融庫及北海道府縣ヲ區域トスル信用組合聯合會(以下金融機關ト總稱ス)ハ事業ニ屬スル設備ノ新設、擴張若ハ改良ニ關スル資金ノ貸付ヲ爲シ又ハ有價證券ノ應募引受若ハ募集ノ取扱ヲ爲サントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ許可ヲ受クベシ金融機關ニ非ズシテ有價證券ノ引受又ハ募集ノ取扱ヲ業トスル者(以下之ヲ證券引受業者ト稱ス)有價證券ノ應募、引受又ハ募集ノ取扱ヲ爲サントスルトキ亦同シ

第三條 金融機關又ハ證券引受業者前條ノ貸付又ハ有價證券ノ應募、引受若ハ募集ノ取扱ニ關シ本法ノ目的ニ從ヒ政府ノ適當ト認ムル方法ニ依リ自治的ニ調整ヲ爲スモノナルトキハ之ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依リ前條ノ規定ヲ適用セザルコトヲ得

前項ノ事務ノ取扱ニ要スル經費ハ日本銀行ノ負擔トス

第一項ノ場合ニ於テ當該事務ニ從事スル日本銀行職員ハ之ヲ法令ニ依リ公務ニ從事スル職員ト看做ス

第六條 日本興業銀行ハ五十億圓ヲ限リ日本興業銀行法第十二條ノ規定ニ依リ制限ヲ超エテ債券ヲ發行スルコトヲ得

日本興業銀行ハ其ノ債券借換ノ爲メ債券ヲ發行スル場合ニ於テハ前項ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

第七條 金資金ハ金資金特別會計法第四條ノ規定ニ依リノ外之ヲ興業債券ニ運用スルコトヲ得

第七條ノ二 商工組合中央金庫ハ五千萬圓ヲ限リ商工組合中央金庫法第三十一條ノ規定ニ依リ制限ヲ超エテ債券ヲ發行スルコトヲ得

第八條 命令ノ定ムル時局ニ緊要ナル事業ヲ營ム會社ハ事業擴張ノ場合ニ於テ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ認可ヲ受ケ其ノ事業ニ屬スル設備ノ費用ニ充ツル爲メ株金全額拂込前ト雖モ其ノ資本ヲ増加スルコトヲ得

第四條 命令ノ定ムル會社ノ設立ハ政府ノ認可ヲ受クルニ非ズレバ其ノ效力ヲ生ゼズ會社ノ資本増加、合併又ハ目的變更ニシテ命令ノ定ムルモノニ付亦同ジ

命令ノ定ムル會社左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ政府ノ許可ヲ受クベシ

一、第二回以後ノ株金ノ拂込ヲ爲サシメントスルトキ

二、他人ヲシテ引受又ハ募集ノ取扱ヲ爲サシメズシテ社債ヲ募集セントスルトキ

第四條ノ二 命令ノ定ムル 限度ヲ 超ユル事業設備ノ新設、擴張又ハ改良ヲ爲サントスル者ハ之ニ付政府ノ許可ヲ受クベシ但シ命令ノ定ムル者及左ノ各號ノ一ニ該當スル資金ニ依ル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一、金融機關ヨリノ借入金

二、他人ヲシテ引受又ハ募集ノ取扱ヲ爲サシメタル社債ノ収入金

三、本法ニ依リ設立又ハ資本増加ニ付認可ヲ受ケタル場合ノ會社ノ第一回拂込株金又ハ出資金

四、本法ニ依リ拂込又ハ募集ニ付許可又ハ認可ヲ受ケタル場合ノ會社ノ拂込株金又ハ社債収入金

第五條 政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ第二條、第四條又ハ前條ノ許可又ハ認可ニ關スル事務ヲ日本銀行ヲシテ取扱ハシム

第九條 命令ノ定ムル時局ニ緊要ナル事業ヲ營ム會社ハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ認可ヲ受ケ其ノ事業ニ屬スル設備ノ費用ニ充ツル爲メ商法第二百條ノ規定ニ依リ制限ヲ超エテ社債ヲ募集スルコトヲ得但シ社債ノ總額ハ拂込ミタル株金額ノ二倍ヲ超ユルコトヲ得ズ

最終ノ貸借對照表ニ依リ會社ニ現存スル財産ガ拂込ミタル株金額ニ滿タザルトキハ前項ノ規定ヲ適用セズ

第十條 政府ハ第八條ノ規定ニ依リ資本ヲ増加シタル會社又ハ前條ノ規定ニ依リ社債ヲ募集シタル會社ニ對シ其ノ業務及會計ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第十條ノ二 政府ハ土地其ノ他ノモノニシテ命令ノ定ムルモノヲ收用セラレ若ハ賣却シタル者又ハ其ノ利害關係人ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ代價トシテ受クル金錢ノ處分ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十一條 資金使用ノ調整ニ關シ重要ナル事項ヲ調査審議スル爲メ臨時資金調整委員會ヲ置ク

臨時資金調整委員會ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十二條 第二條、第四條、第四條ノ二、第八條又ハ第一

九條第一項ノ規定ニ依ル許可又ハ認可ニ關スル處分ニシテ重要ナルモノニ付テハ臨時資金審査委員會ノ議ヲ經ベシ

臨時資金審査委員會ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

**第十三條** 政府ハ日本勸業銀行ヲシテ收入金二十億圓ニ達スル迄貯蓄債券ヲ發行セシムルコトヲ得

**第十四條** 貯蓄債券ハ無記名トシテ券面金額ヲ三十圓以下トス

二回以上抽籤ヲ以テ之ヲ償還スベシ

貯蓄債券ヲ償還スル場合ニハ賣出價格ノ三百倍以内ノ割増金ヲ附與スルコトヲ得其ノ方法及金額ハ主務大臣之ヲ定ム

前項ノ割増金ハ主務大臣ノ定ムル價格ニ依リ國債證券ヲ以テ交付スルコトヲ得

**第十四條ノ二** 政府ハ日本勸業銀行ヲシテ收入金十五億圓ニ達スル迄報國債券ヲ發行セシムルコトヲ得

報國債券ハ無記名トシ券面金額ヲ十圓以下トス

**第十四條ノ三** 報國債券ハ無利子トシ券面金額ヲ以テ之ヲ賣出スモノトス

**第十四條ノ四** 報國債券ハ發行ノ翌年ヨリ十年内ニ之ヲ償還スベシ

報國債券ニハ抽籤ヲ以テ割増金ヲ附スルコトヲ得其ノ方法及金額ハ主務大臣之ヲ定ム

**第十四條ノ五** 報國債券ノ所有者ガ長期ニ互リ郵便官署

又ハ日本勸業銀行ニ其ノ債券ノ保管ヲ委託シタル場合ニ於テハ主務大臣ノ定ムル所ニヨリ當該債券ニ割増金ヲ附スルコトヲ得

**第十五條** 復興貯蓄債券法第三條、第五條、第六條、第七條第一項及第八條並ニ日本勸業銀行法第三十五條ノ

二、第三十五條ノ三、第四十條及第四十二條ノ規定ハ貯蓄債券ニ之ヲ準用ス但シ日本勸業銀行法第三十五條ノ二第一項中二十圓トアルハ三十圓トス

**第十六條** 政府ハ資金ノ狀況ヲ調査スル爲必要アリト認

ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ左ノ各號ニ掲グル事項ニ關シ關係者ヨリ報告ヲ徴シ又ハ帳簿其ノ他ノ檢査ヲ爲スコトヲ得

一、資金ノ需給及移動ニ關スル事項

二、有價證券ニ關スル事項

三、國際收支ニ關スル事項

四、事業ノ資金計畫ニ關スル事項

五、事業設備ノ新設、擴張又ハ改良ニ關スル事項

**第十六條ノ二** 政府ハ第四條ノ二ノ規定ニ違反シ許可ヲ

受ケズシテ又ハ第四條、第四條ノ二、第八條若ハ第九條ノ規定ニ依リ認可若ハ許可ニ附シタル條件ニ違反シテ事業設備ノ新設、擴張又ハ改良ヲ爲シタル者ニ對シ其ノ中止ヲ命ズルコトヲ得

**第十七條** 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

一、第二條ノ規定ニ違反シ許可ヲ受ケズシテ資金ノ貸付ヲ爲シ又ハ有價證券ノ應募、引受若ハ募集ノ取扱ヲ爲シタル者

二、第四條第二項ノ規定ニ違反シ許可ヲ受ケズシテ株金拂込ノ催告又ハ社債ノ募集ヲ爲シタル者

三、第四條ノ二ノ規定ニ違反シ許可ヲ受ケズシテ又ハ第四條、第四條ノ二、第八條若ハ第九條ノ規定ニ依リ認可若ハ許可ニ附シタル條件ニ違反シテ事業設備ノ新設、擴張又ハ改良ヲ爲シタル者

**第十八條** 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

一、第十條ノ規定ニ依ル命令又ハ處分ニ違反シタル者

二、第十條ノ二ノ規定ニ基キ金錢ノ處分ニ關シ發スル命令ニ違反シタル者

三、第十六條ノ規定ニ違反シ報告ヲ爲サズ又ハ虛偽ノ報告ヲ爲シタル者

四、本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ政府ニ提出スベキ許可又ハ認可ノ申請書其ノ他ノ書類ニ虛偽ノ記載ヲ爲シタル者

**第十八條ノ二** 第十六條ノ規定ニ依リ檢査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

**第十九條** 法人ノ代表者又ハ法人若ハ人ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ其ノ法人又ハ人ノ業務ニ關シテ前

三條ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ行爲者ヲ罰スルノ外其ノ法人又ハ人ニ對シ亦前二條ノ罰金刑ヲ科ス

**第二十條** 當該官吏、委員若ハ第五條第三項ニ規定スル日本銀行職員又ハ其ノ職ニ在リタル者本法ニ依リ職務執行ニ關シ知得タル法人又ハ人ノ業務上ノ秘密ヲ漏洩シ又ハ竊用シタルトキハ二年以下ノ懲役又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

**第二十一條** 本法ヲ朝鮮、臺灣又ハ樺太ニ施行スル場合ニ於テ必要アルトキハ勅令ヲ以テ特別ノ定ヲ爲スコトヲ得

附 則

本法施行ノ期日ハ各條ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法ハ第十四條及第十四條ノ三乃至第十五條ヲ除キ支那事變終了後一年内ニ之ヲ廢止スルモノトス

附錄 (臨時資金調整法)

附 則 (昭和十四年四月二十日) 法律第八十六號

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附 則 (昭和十五年三月三十日) 法律第七十號

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附 則 (昭和十七年三月三十一日) 法律第八十四號

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

有價證券移轉税法第九條第二號中「二十圓」ヲ「三十圓」ニ改ム

臨時資金調整法施行令

(昭和十二年九月二十五日) 勅令第五百二十七號

改正 昭和十三年八月十五日勅令第五百九十號

昭和十四年四月二十二日勅令第二百二十四號

昭和十七年三月三十一日勅令第三百六十七號

第一條 臨時資金調整法第二條ノ規定ノ適用ヲ受クル金

融機關事業ニ屬スル設備ノ新設、擴張又ハ改良ノ爲ニ使用セラルルト認ムル一口五萬圓以上ノ資金ノ貸付ヲ爲サントスルトキハ主務大臣ノ許可ヲ受クベシ貸付總額五萬圓以上ニ及ブベキ數口ニ亙ル資金ノ貸付ヲ爲サントスルトキ亦同ジ

前項ニ五萬圓以上トアルハ左ニ掲グル事業設備ニシテ主務大臣ノ定ムルモノノ新設、擴張又ハ改良ノ爲ニ使用セラルルト認ムル資金ノ貸付ニ付テハ三萬圓以上トス

- 一、化粧品、化粧用具、喫煙用具、身邊用細貨類、毛皮製品、羽毛製品若ハ羽毛ヲ用ヒタル製品、皮革製品、玩具、室内遊戯具、樂器、樂器部分品若ハ附屬品、室内裝飾用品、照明器具、家具、致醉飲料、清涼飲料、調味料、菓子又ハ飴ノ製造用ノ設備
- 二、映畫製作用ノ設備

第四條 臨時資金調整法第四條第一項ノ規定ニ依リ設立

ニ付主務大臣ノ認可ヲ要スル會社ハ資本金(出資總額、株金總額、出資總額及株金總額ノ合計額又ハ基金總額ヲ謂フ以下同ジ)二十萬圓以上ノ會社トス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ此ノ限ニ在ラズ

- 一、特別ノ法令ニ依リ設立セラルル會社
- 二、臨時資金調整法以外ノ法令ニ依リ設立ニ付行政官廳ノ認可、許可若ハ免許ヲ受クベキ會社又ハ行政官廳ノ命令ニ依リ設立セラルル會社
- 三、目的トスル事業ノ全部ニ付行政官廳ノ許可、免許又ハ命令ヲ受クベキ會社

行政官廳前項第二號又ハ第三號ニ掲グル會社ニ付認可許可又ハ免許ヲ爲サントスルトキハ基ノ事項ノ主務大臣ハ前項ノ主務大臣ニ協議スベシ

第五條 臨時資金調整法第四條第一項ノ規定ニ依リ主務

大臣ノ認可ヲ要スル會社ノ資本増加、合併又ハ目的變更ハ左ニ掲グルモノトス但シ行政官廳ノ認可、許可若ハ免許ヲ受ケタルモノ又ハ行政官廳ノ命令ニ依リ爲スモノハ此ノ限ニ在ラズ

- 一、資本金二十萬圓以上ノ會社ノ資本増加、合併又ハ目的變更
- 二、資本増加又ハ合併ニ因リ資本金二十萬圓以上ノ會

附錄 (臨時資金調整法)

三、物品販賣用ノ設備

四、理容店用、浴場用、旅館用、料理店用又ハ貸席用ノ設備

五、興行用ノ設備

六、社交用、娛樂用又ハ遊興用ノ設備

第二條 臨時物資調整法第二條ノ規定ノ適用ヲ受クル金融機關又ハ證券引受業者額面總額五萬圓以上ノ有價證券(國債、地方債及臨時資金調整法施行地内ニ本店ヲ有スル會社ノ株式ヲ除ク以下同ジ)ノ應募、引受又ハ募集ノ取扱ヲ爲サントスルトキハ主務大臣ノ許可ヲ受クベシ

第三條 前二條ノ規定ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ之ヲ適用セズ

一、行政官廳ノ認可又ハ許可ヲ受ケ借入ルル資金ノ貸付ヲ爲ストキ

二、行政官廳ノ認可又ハ許可ヲ受ケ發行スル有價證券ノ應募、引受又ハ募集ノ取扱ヲ爲ストキ

三、臨時資金調整法以外ノ法令ニ依リ行政官廳ノ認可又ハ許可ヲ受ケ有價證券ノ應募、引受又ハ募集ノ取扱ヲ爲ストキ

行政官廳前項ノ認可又ハ許可ヲ爲サントスルトキハ其ノ事項ノ主務大臣ハ前二條ノ主務大臣ニ協議スベシ

社ト爲ルベキ場合ニ於ケル資本増加又ハ合併  
行政官廳前項但書ノ認可、許可、免許又ハ命令ヲ爲サ  
ントスルトキハ其ノ事項ノ主務大臣ハ前項ノ主務大臣  
ニ協議スベシ

**第六條** 臨時資金調整法第四條第二項ノ規定ニ依リ主務  
大臣ノ許可ヲ受クベキ會社ハ資本金二十萬圓以上ノ會  
社トス但シ同項ニ掲グル事項ニ付行政官廳ノ認可、許  
可若ハ免許ヲ受ケタルモノ又ハ行政官廳ノ命令ニ依リ  
當該事項ヲ爲スモノハ此ノ限ニ在ラズ  
行政官廳前項但書ノ認可、許可、免許又ハ命令ヲ爲サ  
ントスルトキハ其ノ事項ノ主務大臣ハ前項ノ主務大臣  
ニ協議スベシ

**第六條ノ二** 臨時資金調整法第四條ノ二ノ規定ニ依リ主  
務大臣ノ許可ヲ受クベキ事業設備ノ新設、擴張又ハ改  
良ノ限度ハ五萬圓トス但シ第一條第二項ニ掲グル事業  
設備ニシテ主務大臣ノ定ムルモノニ付テハ其ノ限度ヲ  
三萬圓トス

**第六條ノ三** 臨時資金調整法第四條ノ二但書ノ規定ニ依  
リ事業設備ノ新設、擴張又ハ改良ヲ爲スニ付許可ヲ受  
クルコトヲ要セザル者ハ左ノ各號ニ掲グル者トス  
一、北海道、府縣、府縣組合、市町村、市町村組合、  
町村組合、市町村内ノ區、市町村學校組合、町村學

臣ノ認可ヲ受ケ臨時資金調整法第八條又ハ第九條ノ規  
定ニ依リ株金全額拂込前ト雖モ資本ヲ増加シ又ハ商法  
第二百條ノ規定ニ依ル制限ヲ超エテ社債ヲ募集スルコ  
トヲ得

- 一、航空機製造事業
- 二、金屬工機械製造事業
- 三、兵器及兵器部分品製造事業
- 四、鋼船製造事業
- 五、製鐵事業
- 六、產金事業
- 七、石炭鑛業
- 八、石油鑛業、石油精製業及石油輸入業

**第九條ノ二** 大藏大臣ハ左ノ各號ノ一ニ掲グルモノヲ收  
用セラレ若ハ賣却シタル者又ハ其ノ利害關係人ニ對シ  
其ノ代償トシテ受クル金錢ノ一部ヲ以テ國債ヲ買入保  
有スベキコトヲ命ズルコトヲ得

- 一 土地、建物、船舶又ハ樹木ノ集團
- 二 前號ニ掲グルモノヲ除クノ外事業ニ關スル設備
- 三 地上權、永小作權又ハ土地若ハ建物ノ賃借權
- 四 特許權、鑛業權又ハ漁業權
- 五 書畫又ハ骨董
- 六 其ノ他大藏大臣ノ指定スルモノ

校組合及學區

二、當該事業設備ノ新設、擴張又ハ改良ニ付行政官廳  
ノ認可、許可若ハ免許ヲ受ケタル者又ハ行政官廳ノ  
命令ニ依リ當該事業設備ノ新設、擴張又ハ改良ヲ爲  
ス者

三、第四條第一項各號ノ一ニ該當スル會社又ハ第五條  
第一項但書ニ該當スル資本増加ヲ爲シタル會社ニシ  
テ第一回拂込株金又ハ出資金ニ依リ當該事業設備ノ  
新設、擴張又ハ改良ヲ爲スモノ  
四、第六條第一項但書ニ該當スル會社ニシテ第二回以  
後ノ拂込株金又ハ社債收入金ニ依リ當該事業設備ノ  
新設擴張又ハ改良ヲ爲スモノ  
行政官廳前項第二號ノ認可、許可、免許又ハ命令ヲ爲  
サントスルトキハ其ノ事項ノ主務大臣ハ大藏大臣及商  
工大臣ニ協議スベシ

**第七條** 臨時資金調整法第二條、第四條又ハ第四條ノ二  
ノ許可又ハ認可ニ關スル事務ヲ日本銀行ヲシテ取扱ハ  
シムルニ付必要ナル事項ハ大藏大臣、商工大臣及農林  
大臣ニ協議シテ之ヲ定ム

**第八條** 臨時資金調整法第六條ノ規定ニ依リ保證ヲ爲ス  
ニ付必要ナル事項ハ大藏大臣之ヲ定ム

**第十條** 臨時資金調整法第十六條ノ規定ニ依リ検査ヲ爲  
ス場合ニ於テハ當該官吏ハ其ノ身分ヲ示ス證券ヲ携帶  
スベシ

**第十一條** 第一條及第二條ニ於テ主務大臣トアルハ銀  
行、信託會社及證券引受業者ニ付テハ大藏大臣、保險  
會社ニ付テハ商工大臣、商工組合中央金庫ニ付テハ大  
藏大臣及商工大臣、產業組合中央金庫及北海道府縣ヲ  
區域トスル信用組合聯合會ニ付テハ大藏大臣及農林大  
臣トシ第四條第一項、第五條第一項及第六條第一項ニ  
於テ主務大臣トアルハ大藏大臣及商工大臣トシ第六條  
ノ二ニ於テ主務大臣トアルハ大藏大臣、農林大臣及商  
工大臣トス

大藏大臣銀行、信託會社又ハ證券引受業者ニ對シ第一  
條又ハ第二條ノ許可ヲ爲サントスルトキハ商工大臣  
ニ、商工大臣保險會社ニ對シ第一條又ハ第二條ノ許可  
ヲ爲サントスルトキハ大藏大臣ニ協議スベシ

附 則

本令ハ昭和十二年九月二十七日ヨリ之ヲ施行ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(昭和十三年八月十五日)  
勅令第五百九十號

附錄 (臨時資金調整法)

附 則 (昭和十四年四月二十一日 勅令第二百二十四號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附 則 (昭和十七年三月三十一日 勅令第三百六十七號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

臨時資金調整法施行細則

(昭和十二年九月二十五日 大藏、農林、商工省令第一號)

改正

昭和十二年十月十三日大藏、農林、商工省令

昭和十三年八月十五日大藏、農林、商工省令

昭和十四年四月二十二日大藏、農林、商工省令

昭和十七年一月十日大藏、農林、商工省令

第一條

臨時資金調整法第三條ノ規定ニ依リ同法第二條ノ規定ヲ適用セザル金融機關又ハ證券引受業者ハ主務大臣之ヲ定ム

主務大臣特ニ必要アリト認ムルトキハ前項ノ金融機關又ハ證券引受業者ニ對シ事項ヲ指定シ臨時資金調整法第二條ノ許可ヲ受クベキコトヲ命ズルコトアルベシ

第二條

金融機關臨時資金調整法施行令第一條ノ規定ニ依リ貸付ニ付許可ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ日本銀行ノ本店又ハ支店

- 一、有價證券發行者ノ事業ノ大要ヲ知ルニ足ル書類
- 二、社債申込證又ハ之ニ準ズベキモノノ雛形及募集趣意書

第四條

金融機關又ハ證券引受業者臨時資金調整法施行令第二條ノ規定ニ依リ有價證券ノ引受又ハ募集ノ取扱ニ付許可ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ日本銀行ノ本店又ハ支店ヲ經テ主務大臣ニ提出スベシ

- 一、申請者ノ住所及商號又ハ名稱
  - 二、有價證券發行者ノ住所及商號又ハ名稱
  - 三、引受又ハ募集ノ取扱ヲ爲ス有價證券ノ種類、數量及價額
  - 四、引受又ハ募集ノ取扱ニ關スル條件
  - 五、有價證券ノ發行ノ時期、總額及條件
  - 六、有價證券ノ發行ニ依リ調達セラルル資金ノ用途
  - 七、資金ガ事業設備ノ新設、擴張又ハ改良ノ爲ニ使用セラルルモノナルトキハ之ニ關スル計畫及其ノ豫算ノ大要並ニ資金ノ調達方法
- 前項ノ許可申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ
- 一、有價證券發行者ノ事業ノ大要ヲ知ルニ足ル書類
  - 二、有價證券發行者ノ最終ノ貸借對照表及損益計算書
  - 三、社債申込證又ハ之ニ準ズベキモノノ雛形及募集趣

ヲ經テ主務大臣ニ提出スベシ

- 一、申請者ノ住所及商號又ハ名稱
- 二、借主ノ住所及氏名、商號又ハ名稱
- 三、貸付ノ種類、時期及金額(數口ニ亙ルトキハ貸付總額並ニ各口ノ貸付ノ種類、時期及金額)
- 四、貸付ノ利率、償還期限其ノ他ノ條件
- 五、借主ガ貸付金ヲ使用シテ爲ス事業設備ノ新設、擴張又ハ改良ニ關スル計畫及其ノ豫算ノ大要並ニ資金ノ調達方法

前項ノ許可申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

- 一、借主ノ事業ノ大要ヲ知ルニ足ル書類
- 二、借主ガ會社ナルトキハ最終ノ貸借對照表及損益計算書

第三條

金融機關又ハ證券引受業者臨時資金調整法施行令第二條ノ規定ニ依リ有價證券ノ應募ニ付許可ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ日本銀行ノ本店又ハ支店ヲ經テ主務大臣ニ提出スベシ

- 一、申請者ノ住所及商號又ハ名稱
  - 二、有價證券發行者ノ住所及商號又ハ名稱
  - 三、應募スル有價證券ノ種類、數量及價額
- 前項ノ許可申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

第五條

臨時資金調整法施行令第四條ノ會社ノ設立ニ付認可ヲ受ケントスルトキハ發起人又ハ社員タルベキ者ハ定款ヲ作成シタル後左ニ掲グル事項ヲ記載シタル認可申請書ヲ日本銀行ノ本店又ハ支店ヲ經テ主務大臣ニ提出スベシ

- 一、申請者ノ住所及氏名
  - 二、會社ノ住所、商號又ハ名稱及資本金額
  - 三、會社ノ目的タル事業ノ大要
  - 四、會社ノ設立ヲ必要トスル事由
  - 五、會社ノ事業設備ノ計畫及其ノ豫算ノ大要並ニ資金ノ調達方法
  - 六、第一回ノ拂込ノ時期及金額
- 前項ノ認可申請書ニハ定款並ニ事業計畫明細書及事業收支目論見書ヲ添附スベシ
- 會社ノ創立總會ニ於テ前項ノ定款ヲ變更シタルトキ又ハ創立總會ノ終結ガ會社設立ノ認可ノ日ヨリ六月以上ヲ經過シタル後ナルトキハ發起人ハ創立總會ノ終結後更メテ前二項ノ規定ニ準ジ認可申請書ヲ提出スベシ

第六條

臨時資金調整法施行令第五條ノ資本増加ニ付認可申請書ヲ日本銀行ノ本店又ハ支店ヲ經テ主務大臣

- ニ提出スベシ
  - 一、會社ノ住所及商號又ハ名稱
  - 二、會社ノ現在ノ資本金額
  - 三、資本金増加ノ金額並ニ第一回ノ拂込ノ時期及金額
  - 四、資本金増加ノ方法
  - 五、資本金増加ヲ必要トスル事由
  - 六、資本金増加ニ依リ調達スル資金ノ使途
  - 七、資本ガ事業設備ノ新設、擴張又ハ改良ノ爲ニ使用セラルルモノナルトキハ之ニ關スル計畫及其ノ豫算ノ大要並ニ資金ノ調達方法
  - 前項ノ認可申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ
  - 一、資本金増加ニ關スル株主總會ノ決議録又ハ之ニ準ズベキモノノ謄本
  - 二、定款並ニ最終ノ貸借對照表及損益計算書
  - 三、資本金増加ニ伴フ事業計畫明細書及事業收支目論見書
- 新株ノ募集ニ關スル事項ノ報告ヲ爲スベキ株主總會ノ終結ガ資本増加ノ認可ノ日ヨリ六月以上ヲ經過シタル後ナルトキハ會社ハ其ノ株主總會ノ終結後更メテ前二項ノ規定ニ準ジ認可申請書ヲ提出スベシ
- 第七條 臨時資金調整法施行令第五條ノ合併ニ付認可ヲ受ケントスル會社ハ連名ニテ左ニ掲グル事項ヲ記載シ

- タル認可申請書ヲ日本銀行ノ本店又ハ支店ヲ經テ主務大臣ニ提出スベシ
- 一、合併スル會社ノ住所及商號又ハ名稱
  - 二、合併スル會社ノ目的並ニ資本金額及拂込資本金額
  - 三、合併後存続スル會社又ハ合併ニ因リ設立スル會社ノ住所及商號又ハ名稱
  - 四、合併後存続スル會社又ハ合併ニ因リ設立スル會社ノ目的並ニ資本金額及拂込資本金額
  - 五、合併ノ時期及方法
  - 六、合併ヲ必要トスル事由
  - 七、合併後存続スル會社又ハ合併ニ因リ設立スル會社ノ事業ノ大要
  - 前項ノ認可申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ
  - 一、合併ニ關スル株主總會ノ決議録又ハ之ニ準ズベキモノノ謄本
  - 二、合併契約書ノ謄本
  - 三、合併後存続スル會社又ハ合併ニ因リ設立スル會社ノ定款並ニ事業計畫明細書及事業收支目論見書
  - 四、合併スル會社ノ定款並ニ最終ノ貸借對照表及損益計算書
  - 第五條第三項ノ規定ハ合併ニ因リ會社ヲ設立スル場合ニ之ヲ準用ス

第八條

- 臨時資金調整法施行令第五條ノ目的變更ニ付認可ヲ受ケントスル會社ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル認可申請書ヲ日本銀行ノ本店又ハ支店ヲ經テ主務大臣ニ提出スベシ
- 一、會社ノ住所及商號又ハ名稱
  - 二、會社ノ資本金額及拂込資本金額
  - 三、會社ノ現在ノ目的及變更後ノ目的
  - 四、目的變更ヲ必要トスル事由
  - 五、目的變更後ニ於ケル會社ノ事業ノ大要
  - 前項ノ認可申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ
  - 一、目的變更ニ關スル株主總會ノ決議録又ハ之ニ準ズベキモノノ謄本
  - 二、定款並ニ最終ノ貸借對照表及損益計算書
  - 三、目的變更ニ伴フ事業計畫明細書及事業收支目論見書
- 第九條 臨時資金調整法施行令第六條ノ會社第二回以後ノ株金ノ拂込ノ催告ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ日本銀行ノ本店又ハ支店ヲ經テ主務大臣ニ提出スベシ
- 一、會社ノ住所及商號又ハ名稱
  - 二、會社ノ資本金額及拂込資本金額
  - 三、株金ノ拂込ノ時期及金額

第十條

- 臨時資金調整法施行令第六條ノ會社社債ノ募集ニ付許可ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ日本銀行ノ本店又ハ支店ヲ經テ主務大臣ニ提出スベシ
- 一、會社ノ住所及商號又ハ名稱
  - 二、會社ノ資本金額及拂込資本金額
  - 三、社債ノ發行ノ時期、總額及條件
  - 四、社債ノ募集ヲ必要トスル事由
  - 五、社債ノ募集ニ依リ調達スル資金ノ使途
  - 六、資金ガ事業設備ノ新設、擴張又ハ改良ノ爲ニ使用セラルルモノナルトキハ之ニ關スル計畫及其ノ豫算ノ大要並ニ資金ノ調達方法
  - 前項ノ許可申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

附錄 (臨時資金調整法)

- 一、社債ノ募集ニ關スル株主總會ノ決議録又ハ之ニ準ズベキモノノ謄本
- 二、社債申込證案及募集趣意書案
- 三、定款並ニ最終ノ貸借對照表及損益計算書
- 四、社債ノ募集ニ伴フ事業計畫明細書及事業收支目論見書

第十一條

臨時資金調整法施行令第六條ノ二ノ規定ニ依リ事業設備ノ新設、擴張又ハ改良ヲ爲スニ付許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ日本銀行ノ本店又ハ支店ヲ經テ主務大臣ニ提出スベシ

- 一、申請者ノ住所及氏名、商號又ハ名稱
- 二、會社ニ在リテハ其ノ資本金額及拂込資本金額
- 三、事業設備ノ新設、擴張又ハ改良ニ關スル計畫及其ノ豫算ノ大要並ニ資金ノ調達方法
- 四、事業設備ノ新設、擴張又ハ改良ヲ必要トスル事由前項ノ許可申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ
- 一、會社ニ在リテハ定款並ニ最終ノ貸借對照表及損益計算書、會社以外ノ法人ニ在リテハ定款、寄附行爲又ハ之ニ準ズベキモノ並ニ事業及資産負債ノ概要ヲ知ルニ足ル書類、個人ニ在リテハ現ニ營ム事業ノ概要ヲ知ルニ足ル書類(人格ナキ團體ノ爲ニスルモノ

二一八

ナルトキハ其ノ團體ノ規約並ニ事業及資産負債ノ概要ヲ知ルニ足ル書類)

- 二、事業設備ノ新設、擴張又ハ改良ニ伴フ事業計畫明細書及事業收支目論見書
- 細書及事業收支目論見書
- 相互會社以外ノ會社ニシテ資本金二十萬圓未滿ノモノ、會社以外ノ法人若ハ個人ノ事業設備ノ新設、擴張又ハ改良又ハ相互會社以外ノ會社ニシテ資本金二十萬圓以上ノモノ若ハ相互會社ノ臨時資金調整法施行令第一條第二項ニ掲グル五萬圓以下ノ事業設備ノ新設、擴張又ハ改良ニシテ昭和十四年勅令第二百二十四號施行ノ際現ニ其ノ新設、擴張又ハ改良ニ著セルモノニ付テハ同令ノ施行後一月内ニ當該新設、擴張又ハ改良ガ完了スル見込ナキ場合ニ限り前二項ノ規定ニ依リ許可申請書ヲ提出スベキモノトス

第十二條

臨時資金調整法施行令第九條ニ掲グル事業ヲ營ム會社株主總會ノ決議録又ハ改良ニ關スル計畫及其ノ豫算ノ大要並ニ資金ノ調達方法

- 一、會社ノ住所及商號又ハ名稱
- 二、會社ノ現在ノ資本金額及拂込資本金額
- 三、資本金增加ノ金額並ニ第一回ノ拂込ノ時期及金額
- 四、資本金增加ノ方法

五、株主總會ノ決議録又ハ改良ニ關スル計畫及其ノ豫算ノ大要並ニ資金ノ調達方法

- 六、資本金增加ニ依リ調達スル資金ヲ使用シテ爲ス事業設備ノ新設、擴張又ハ改良ニ關スル計畫及其ノ豫算ノ大要並ニ資金ノ調達方法
- 前項ノ認可申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ
- 一、資本金增加ニ關スル株主總會ノ決議録又ハ之ニ準ズベキモノノ謄本
- 二、會社ノ資本金額及拂込資本金額ニ關スル登記簿ノ抄本
- 三、定款並ニ最終ノ貸借對照表及損益計算書
- 四、資本金增加ニ伴フ事業計畫明細書及事業收支目論見書

第六條第三項ノ規定ハ第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十三條

臨時資金調整法施行令第九條ニ掲グル事業ヲ營ム會社商法第二百條ノ規定ニ依ル制限ヲ超エテ社債ヲ募集セントスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル認可申請書ヲ日本銀行ノ本店又ハ支店ヲ經テ主務大臣ニ提出スベシ

- 一、會社ノ住所及商號又ハ名稱
- 二、會社ノ資本金額及拂込資本金額
- 三、社債ノ發行ノ時期、總額及條件
- 四、商法第二百條ノ規定ニ依ル制限ヲ超ユル社債ノ募集

附錄 (臨時資金調整法)

集ヲ必要トスル事由

- 五、社債ノ募集ニ依リ調達スル資金ヲ使用シテ爲ス事業設備ノ新設、擴張又ハ改良ニ關スル計畫及其ノ豫算ノ大要並ニ資金ノ調達方法
- 前項ノ場合ニ於テ擔保附社債信託法ニ依リ社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行スルモノナルトキハ認可申請書ニ前項各號ニ掲グル事項ノ外左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ
- 一、社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行スル旨ノ表示
- 二、社債ノ利率ノ最高限度
- 第一項ノ認可申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ
- 一、社債ノ募集ニ關スル株主總會ノ決議録又ハ之ニ準ズベキモノノ謄本
- 二、會社ノ資本金額及拂込資本金額ニ關スル登記簿ノ抄本
- 三、前ニ社債ヲ募集シタルトキハ其ノ償還ヲ了ヘザル總額ニ關スル登記簿ノ抄本
- 四、信託證書案
- 五、社債ニ附スル擔保物件ノ目錄
- 六、前號ノ擔保物件ノ帳簿價格ヲ最終ノ財産目錄ノ科目別ニ記載シタル書類
- 七、定款並ニ最終ノ貸借對照表及損益計算書
- 八、社債ノ募集ニ伴フ事業計畫明細書及事業收支目論

抄本

- 三、前ニ社債ヲ募集シタルトキハ其ノ償還ヲ了ヘザル總額ニ關スル登記簿ノ抄本
- 四、信託證書案
- 五、社債ニ附スル擔保物件ノ目錄
- 六、前號ノ擔保物件ノ帳簿價格ヲ最終ノ財産目錄ノ科目別ニ記載シタル書類
- 七、定款並ニ最終ノ貸借對照表及損益計算書
- 八、社債ノ募集ニ伴フ事業計畫明細書及事業收支目論



附錄 (臨時資金調整法)

見書

第十四條

金融機關又ハ證券引受業者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ都度報告書ヲ日本銀行ノ本店又ハ支店ヲ經テ主務大臣ニ提出スベシ

- 一、事業設備ノ新設、擴張又ハ改良ノ爲ニ使用セラルルト認ムル一口五萬圓以上ノ改金ノ貸付ヲ爲シタルトキ
二、事業設備ノ新設、擴張又ハ改良ノ爲ニ使用セラルルト認ムル貸付總額五萬圓以上ニ及ブベキ數口ニ亙ル資金ノ貸付ヲ爲シタルトキ
三、額面總額五萬圓以上ノ有價證券(國債、地方債及臨時資金調整法施行地内ニ本店ヲ有スル會社ノ株式ヲ除ク以下同ジ)ノ應募ヲ爲シ其ノ割當ヲ受ケタルトキ
四、額面總額五萬圓以上ノ有價證券ノ引受又ハ募集ノ取扱ニ關スル契約ヲ締結シタルトキ

第十五條

金融機關又ハ證券引受業者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ一月分ヲ取繼メ翌月十日迄ニ報告書ヲ日本銀行ノ本店又ハ支店ヲ經テ主務大臣ニ提出スベシ但シ前條ノ規定ニ依リ報告ヲ爲スベキモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

- 一、事業設備ノ新設、擴張又ハ改良ノ爲ニ使用セラル

ルト認ムル一口三萬圓以上ノ資金ノ貸付ヲ爲シタルトキ

- 二、事業設備ノ新設、擴張又ハ改良ノ爲ニ使用セラルルト認ムル貸付總額三萬圓以上ニ及ブベキ數口ニ亙ル資金ノ貸付ヲ爲シタルトキ
三、額面總額三萬圓以上ノ有價證券ノ應募ヲ爲シ其ノ割當ヲ受ケタルトキ
四、額面總額三萬圓以上ノ有價證券ノ引受又ハ募集ノ取扱ニ關スル契約ヲ締結シタルトキ

第十六條

前二條ノ規定ニ依リ主務大臣ニ提出スベキ報告書ハ左ノ方法ニ依リ之ヲ作成スベシ

- 一、資金ノ貸付ニ關スル報告書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ
イ、借主ノ住所及氏名、商號又ハ名稱
ロ、借主ノ事業ノ種類
ハ、貸付ノ年月日
ニ、貸付ノ種類及金額
ホ、貸付ノ利率、償還期限其ノ他ノ條件
ヘ、貸付金ノ使途
二、有價證券ノ應募ニ關スル報告書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ
イ、有價證券發行者ノ住所及商號又ハ名稱

ロ、有價證券發行者ノ事業ノ種類

ハ、應募割當ノ年月日

ニ、割當ヲ受ケタル有價證券ノ種類、數量及價額

ホ、割當ヲ受ケタル有價證券ノ拂込ノ時期

三、有價證券ノ引受又ハ募集ノ取扱ニ關スル報告書ニ

ハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

イ、有價證券發行者ノ住所及商號又ハ名稱

ロ、有價證券發行者ノ事業ノ種類

ハ引受又ハ募集ノ取扱ニ對スル契約ノ締結ノ年月日

ニ、引受又ハ募集ノ取扱ヲ爲ス有價證券ノ種類、數量及價額

ホ、引受又ハ募集ノ取扱ニ關スル條件

ヘ、有價證券ノ發行ノ時期、總額及條件

ト、有價證券ノ發行ニ依リ調達セラルル資金ノ使途

第十七條

主務大臣必要アリト認ムルトキハ本令ニ依リ許可若ハ認可ノ申請書又ハ報告書ヲ提出スベキ者ニ對シ其ノ副本ノ提出ヲ命ズルコトヲ得

主務大臣必要アリト認ムルトキハ本令ニ依リ提出スベキ申請書、之ニ添付スベキ書類又ハ報告書ニ關シ別段ノ指示ヲ爲スコトヲ得

主務大臣ハ本令ニ定ムルモノノ外關係者ニ對シ臨時資金調整法ニ依ル許可又ハ認可ニ關シ必要ナル書類ノ提

附錄 (臨時資金調整法)

出ヲ命ズルコトヲ得

第十七條ノ二

臨時資金調整法施行令第一條第二項又ハ第六條ノ二但書ノ規定ニ依リ三萬圓以上ノ資金ノ貸付又ハ三萬圓ヲ超ユル新設、擴張若ハ改良ニ付主務大臣ノ許可ヲ受クベキ事業設備ハ別表ニ定ムル所ニ依ル

第十八條

第一條乃至第四條、第十四條及第十五條ニ於テ主務大臣トアルハ銀行、信託會社、保險會社及證券引受業者ニ付テハ大藏大臣、商工組合中央金庫ニ付テハ大藏大臣及商工大臣、産業組合中央金庫及北海道府縣ヲ區域トスル信用組合聯合會ニ付テハ大藏大臣及農林大臣トシ第五條乃至第十條、第十二條及第十三條ニ於テ主務大臣トアルハ大藏大臣及商工大臣トシ第十一條ニ於テ主務大臣トアルハ大藏大臣、農林大臣及商工大臣トス

本令ハ昭和十二年九月二十七日ヨリ之ヲ施行ス

附 則 (昭和十年十月十三日)

大藏、農林、商工省令

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
第十條第四項ノ規定ニ依ル許可申請書ハ本令公布ノ日ヨリ十日内ニ之ヲ提出スベシ

附録 (臨時資金調整法)

二二二

附 則 (昭和十三年八月十五日)  
(大藏、農林、商工省令)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
第十條第四項ノ規定ニ依ル許可申請書ハ本令公布ノ日ヨリ二十日以内ニ之ヲ提出スベシ

附 則 (昭和十四年四月二十二日)  
(大藏、農林、商工省令)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
第十一條第三項ノ規定ニ依ル許可申請書ハ本令公布ノ日ヨリ二十日以内ニ之ヲ提出スベシ

附 則 (昭和十七年一月十日)  
(大藏、農林、商工省令)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
別表

一、左ニ掲グル物品ノ製造用ノ設備

- イ、化粧品  
香水、香紙、香袋、白粉、紅、化粧蠟、クリーム化粧下、化粧水、化粧粉、頭髮用ノ香水、油若ハ煉油、整髮料、染毛操、養毛料、美爪料、脱毛料、脂取料、シヤンブー又ハ洗粉
- ロ、化粧用具  
化粧用刷子(頭髮用ノモノヲ含ム)、コンバクト、香水噴白粉入其ノ他ノ化粧品ノ容器、化粧具匣)

- 折疊式ノモノヲ含ム)又ハ其ノ他ノ化粧用具セツト
- ハ、喫煙用具  
煙管、パイプ類若ハ同ケース、煙草入、灰皿、煙草セツト、煙草盆又ハライター
- ニ、身邊用細貨類  
指環、腕環、耳飾、頸飾、ペンダント、簪、簪、頭髮用ピン、ハットピン、ネクタイピン、襟止、帶止、バツクル、鎖、カフス釦、根付、メダ、ル、バンドバツグ、手提袋、財布、懐中用書狀入、名刺入、筥迫、シース又ハ此等ニ類スルモノ
- ホ、毛皮製品  
敷物、膝掛、手套類、肩掛、被服類又ハ被服用ノ裏、襟、袖若ハ縁
- ヘ、羽毛製品又ハ羽毛ヲ用ヒタル製品  
襟巻、蒲團、座蒲團又ハクツシヨ
- ト、皮革製品  
被服類、手袋、靴、座蒲團、クツシヨ、鞆、トランク又ハケース類
- チ、玩具  
室内遊戯具  
撞球用具、輪投具、ピンポン用具、圍碁若ハ將棋

用具、骨牌、トランプ、麻雀用具、ドミノ、チェツカー又ハ此等ニ類スルモノ

カ、家具  
一ド又ハ此等ニ類スルモノ

又、樂器  
ピアノ、オルガン、アコーディオン、ハーモニカ、ヴァイオリン、ヴィオラ、セロ、コントラバス、マンドリン、マンドラ、マンドリラ、マンドセロ、マンドローネ、ギター、ギタローネ、バラライカ、ウクレレ、バンジョー、フリユート、ピッコロ、クラリネット、オーボ、バズーン、ホルネット、トランペット、トロンボーン、アルト、バリトン、チェューバ、サクソフフォン、スザフフォン、ホルン、バイブラフォン、喇叭(信號喇叭ヲ除ク)、木琴、鐵琴、箏、三絃、琵琶、明笛、尺八、鼓、ドラム類、タンポリン又ハシンバル

有飲料、牛乳若ハ乳製品ヲ原料トスル酸性飲料又ハ果實汁、果實蜜若ハ此等ニ關スル製品ニシテ稀釋シテ飲用ニ供スルモノ

ル、樂器部分品又ハ附屬品  
ヲ、室内裝飾用品  
置物、花器、額縁、柱掛其ノ他壁面裝飾用品、人形、節句飾物又ハ羽子板  
ワ、照明器具  
裝飾用豆電球、ネオン管、スタンド、シヤンデリヤ、ペンダント、ブラケット、バルベツト、シーリングライト、ポーターライト、グローブ、シエ

ソ、菓子  
ツ、餡  
二、映畫製作用ノ設備  
三、物品販賣用ノ設備  
四、理容店用、浴場用、旅館用、料理店用又ハ貸席用

附錄 (臨時資金調整法)

- ノ設備
- イ、理容店用ノ設備
- 理髪用又ハ美容店用ノ設備
- ロ、浴場用ノ設備
- ハ、旅館用ノ設備
- ニ、料理店用ノ設備
- 割烹店、飲食店、酒場、カフェー、喫茶店、ミルクホール其ノ他名稱ノ如何ヲ問ハズ公衆ヲシテ飲食ヲ爲サシムル場所ノ用ニ供スル設備
- ホ、貸席用ノ設備
- 待合茶屋用、芝居茶屋用、相撲茶屋用、遊船宿用又ハ此等ニ類スルモノノ用ニ供スル設備
- 五、興業用ノ設備
- 劇場用、映畫館用、演藝場用又ハ觀物場(相撲、野球、拳闘其ノ他ノ競技ニシテ公衆ノ觀覽ニ供スルコトヲ目的トスルモノヲ含ム)用ノ設備
- 六、社交用、娛樂用又ハ遊興用ノ設備
- イ、社交用ノ設備
- ロ、娛樂用ノ設備
- 遊園地用遊技場(撞球、麻雀、ゴルフ、スケート其ノ他方法ノ如何ヲ問ハズ公衆ヲシテ遊技ヲ爲サシムル公開ノ場所ヲ謂フ)用、舞踏場、(舞踏教

二二四

貯蓄債券ノ割増金ニ關スル件

(昭和十三年二月十九日)

(大藏省令第七號)

臨時資金調整法第十四條ノ規定ニ依ル貯蓄債券ノ割増金ニ關スル件左ノ通定ム

日本勸業銀行ヲシテ貯蓄債券ノ割増金中其ノ全部又ハ一部ヲ國債證券ヲ以テ交付セシメントスルトキハ其ノ旨交付スベキ額並ニ交付スベキ國債證券ノ名稱、記號及交付價格ヲ其ノ都度當該割増金ノ支拂期前ニ告示ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

報國債券ノ割増金ニ關スル件

(昭和十五年四月六日)

(大藏省令第三十一號)

第一條 臨時資金調整法第十四條ノ第四第三項ノ規定ニ依リ日本勸業銀行ヲシテ報國債券ノ割増金中其ノ全部又ハ一部ヲ國債證券ヲ以テ交付セシメントスルトキハ其ノ旨、交付スベキ額並ニ交付スベキ國債證券ノ名稱、記號及交付價格ヲ其ノ都度當該割増金ノ支拂期前ニ告示ス

示ス

第二條 臨時資金調整法第十四條ノ五ノ規定ニ依ル割増金ハ左ニ掲グル條件ヲ具備スル報國債券ニ之ヲ附ス

- 一、當該債券賣出開始ノ日ノ屬スル月ヨリ二年以内ニ保管ヲ委託セラレタルモノナルコト
- 二、當該債券ノ償還ニ至ル迄引續キ保管セラレタルモノナルコト
- 三、當該債券ノ保管中ニ於テ保管委託者ニ變更ナキモノナルコト
- 前項ノ割増金ノ金額ハ賣出開始ノ日ヨリ償還ノ日迄ノ期間ガ九年未滿ノ報國債券ニ在リテハ券面金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額、其ノ他ノ報國債券ニ在リテハ券面金額ノ百分ノ七ニ相當スル金額トス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

法第十六條ニ基ク命令ノ件

(昭和十三年十二月十日)

(大藏省令第六十八號)

臨時資金調整法第十六條ノ規定ニ基ク命令ノ件左ノ通定ム

大藏大臣ハ臨時資金調整法第十六條ノ規定ニ依リ同條ノ規定ニ依リ同條各號ニ掲グル事項ヲ調査スル爲必要アル

附錄 (臨時資金調整法)

トキハ別ニ定ムルモノノ外隨時人及事項ヲ指定シテ報告ヲ求ムルコトヲ得

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

國內資金調査規則及國際收支調査規則ハ之ヲ廢止ス

臨時資金調整法朝鮮施行ノ件

(昭和十二年十月十五日)

(勅令第五百九十四號)

- 第一條 臨時資金調整法ハ第五條乃至第七條及第十一條乃至第十五條ノ規定ヲ除クノ外之ヲ朝鮮ニ施行ス
- 第二條 臨時資金調整法第二條中銀行、信託會社、保險會社、産業組合中央金庫、商工組合中央金庫、職時金融金庫及北海道府縣ヲ區域トスル信用組合聯合會トアルハ銀行、信託會社、保險會社、東洋拓殖株式會社及朝鮮金融組合聯合會トシ同法第二十條中當該官吏、委員若ハ第五條第三項ニ規定スル日本銀行職員トアルハ當該官吏トス(昭一七ノ三勅三六三)
- 第三條 臨時資金調整法施行令第三條第二項、第四條第二項、第五條第二項、第六條第二項、第六條ノ第三第二項、第七條、第八條及第十一條ノ規定ハ之ヲ適用セズ
- (昭一四ノ四勅二二一)
- 第四條 臨時資金調整法施行令中主務大臣、同令第九條

二二五

附錄 (臨時資金調整法)

二二六

中大藏大臣及商工大臣、同令第九條ノ二中大藏大臣トアルハ朝鮮總督トシ同令第六條ノ三第一項中北海道、府縣、府縣組合、市町村、市町村組合、町村組合、市町村内ノ區、市町村學校組合、町村學校組合及學區トアルハ道、府邑面、邑面組合、學校組合學校費トス(昭一四ノ四勅二二一・昭一七ノ三勅三六三)

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

臨時資金調整法臺灣施行ノ件

(昭和十二年十月十五日 勅令第五百九十五號)

第一條 臨時資金調整法ハ第五條乃至第七條及第十一條乃至第十五條ノ規定ヲ除クノ外之ヲ臺灣ニ施行ス

第二條 臨時資金調整法第二條中銀行、信託會社、保險會社、產業組合中央金庫、商工組合中央金庫、戰時金融庫及北海道府縣ヲ區域トスル信用組合聯合會トアルハ銀行、保險會社及臺灣殖殖株式會社トシ同法第二十條中當該官吏、委員若ハ第五條第三項ニ規定スル日本銀行職員トアルハ當該官吏トス(昭一七ノ三勅三六四)

第三條 臨時資金調整法施行令第三條第二項、第四條第二項、第五條第二項、第六條第二項、第六條ノ三第二項、第七條、第八條及第十一條ノ規定ハ之ヲ適セ用ズ(昭

一四ノ四勅二二二)

第四條 臨時資金調整法施行令中主務大臣、同令第九條中大藏大臣及商工大臣、同令第九條ノ三中大藏大臣トアルハ臺灣總督トシ同令第六條ノ五第一項中北海道、府縣、府縣組合、市町村、市町村組合、町村組合、市町村内ノ區、市町村學校組合、町村學校組合及學區トアルハ州廳、市街庄、市街庄組合及街庄組合トス(昭一三ノ四勅二二二・昭一七三勅三六四)

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

臨時資金調整法樺太施行ノ件

(昭和十二年十月二十三日 勅令第六百三號)

第一條 臨時資金調整法ハ第五條乃至第七條及第十一條乃至第十五條ノ規定ヲ除クノ外之ヲ樺太ニ施行ス

第二條 臨時資金調整法第二條中銀行、信託會社、保險會社、產業組合中央金庫、商工組合中央金庫、戰時金融庫及北海道府縣ヲ區域トスル信用組合聯合會トアルハ銀行及樺太ヲ區域トスル信用組合聯合會トシ同法第二十條中當該官吏、委員若ハ第五條第三項ニ規定スル日本銀行職員トアルハ當該官吏トス(昭一七ノ三勅令三六五)

第三條 臨時資金調整法施行令第三條第二項、第五條第二項、第六條第二項、第六條ノ三第二項、第七條、第八條及第十一條ノ規定ハ之ヲ適用セズ(昭一四ノ四勅二二三)

第四條 臨時資金調整法施行令中主務大臣、同令第九條中大藏大臣及商工大臣、同令第九條ノ二中大藏大臣トアルハ樺太廳長官トシ同令第六條ノ三第一項中北海道、府縣、府縣組合、市町村、市町村組合、町村組合、市町村内ノ區、市町村學校組合、町村學校組合及學區トアルハ市町村トス(昭一四ノ四勅二二三・昭一七ノ三勅三六五)

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

關東州臨時資金調整令

(昭和十二年十一月十日 勅令第六百五十一號)

第一條 關東州ニ於ケル資金調整ニ關シテハ臨時資金調整法ニ依ル但シ同法第五條乃至第七條、第十一條乃至第十五條及第二十一條ノ規定ハ此ノ限ニ在ラズ

第二條 臨時資金調整法中政府トアルハ滿洲國駐劄特命全權大使トシ同法第二條中銀行、信託會社、保險會社、產業組合中央金庫、商工組合中央金庫及北海道府

附錄 (臨時資金調整法)

二二七

縣ヲ區域トスル信用組合聯合會トアルハ銀行、保險會社及東洋殖殖株式會社トシ同法第二十條中當該官吏、委員若ハ第五條第三項ニ規定スル日本銀行職員トアルハ當該官吏トス

附 則

本令施行ノ期日ハ大使之ヲ定ム

本令ハ支那事變終了後一年内ニ之ヲ廢止スルモノトス

南洋群島臨時資金調整令

(昭和十二年十一月十日 勅令第六百五十三號)

第一條 南洋群島ニ於ケル資金調整ニ關シテハ臨時資金調整法ニ依ル、但シ同法第五條乃至第七條ノ二第二十一條乃至第十五條及第二十一條ノ規定ハ此ノ限ニ在ラズ(昭一七ノ三勅三六六)

第二條 臨時資金調整法第二條中銀行、信託會社、保險會社、產業組合中央金庫、商工組合中央金庫、戰時金融庫法及北海道府縣ヲ區域トスル信用組合聯合會(以下金融機關ト稱ス)トアルハ南洋殖殖株式會社(以下金融機關ト稱ス)トシ同法第二十條中當該官吏、委員若ハ第五條第三項ニ規定スル日本銀行職員トアルハ當該官吏トス(昭一七ノ三勅三六六)

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

土地等收用者ノ報告ニ關スル件

(昭和十七年四月一日)  
(大藏省令第二十七號)

土地其ノ他ノモノヲ收用シ又ハ購入シタル者等ノ報告ニ關スル件臨時資金調整法第十六條ノ規定ニ依リ左ノ通定ム

- 第一條 臨時資金調整法施行令(以下令ト稱ス)第九條ノ第二號乃至第四號又ハ第六號ニ掲グルモノヲ收用シ又ハ購入シタル者ハ此等ノモノヲ收用セラレ若ハ賣却シタル者又ハ其ノ利害關係人毎ニ其ノ代價トシテ支拂フベキ金銭(以下代價金ト稱ス)ニシテ五千圓ヲ超ユルモノニ付其ノ代價金額確定後遲滯ナク左ニ掲グル事項ヲ記載シタル報告書ヲ大藏大臣ニ提出スベシ但シ此等ノモノノ賣買ヲ爲スヲ業トスル者ヨリ購入シタル者ハ此ノ限ニ在ラズ
- 一 收用者又ハ購入者ノ住所及氏名、商號又ハ名稱
- 二 收用又ハ購入ノ目的タル物件又ハ權利ノ種類並ニ當該物件又ハ當該權利ノ目的タル物件ノ所在地
- 三 收用又ハ購入ノ年月日
- 四 代價金ヲ受クベキ者ノ住所及氏名、商號又ハ名稱並ニ其ノ各人別ノ金額

五 代價金支拂ノ年月日

第二條 令第九條ノ二第五號ニ掲グル物品ガ入札其ノ他競争ノ方法ニ依リ賣却セラルル場合ニ於テハ其ノ札元又ハ之ニ準ズベキ者ハ其ノ賣却者毎ノ賣却代金ニシテ五千圓ヲ超ユルモノニ付其ノ賣却代金額確定後遲滯ナク左ニ掲グル事項ヲ記載シタル報告書ヲ大藏大臣ニ提出スベシ

- 一 札元又ハ之ニ準ズベキ者ノ住所及氏名、商號又ハ名稱
  - 二 賣却ノ年月日
  - 三 賣却者ノ住所及氏名、商號又ハ名稱並ニ其ノ各人別ノ賣却金額
  - 四 賣却代金交付ノ年月日
- 第三條 前二條ノ報告書ハ令第九條ノ二第四號中特許權及同條第五號ニ掲グルモノニ關シテハ代價金ヲ受クベキ者ノ住所ヲ、其ノ他ノモノニ關シテハ當該物件又ハ當該權利ノ目的タル物件ノ所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由スルコトヲ要ス

國民貯蓄組合法

(昭和十六年三月十三日)  
法律第六十四號

改正 昭和十七年三月十六日法律第八十二號

- 第一條 本法ニ於テ國民貯蓄組合トハ左ノ各號ノ一ニ掲グル者ヲ以テ組織シ(戰爭ニ準ズベキ事變ノ場合ヲ含ム)國民貯蓄ノ増強ニ資スル爲メ組合員ノ貯蓄ノ斡旋ヲ爲スモノヲ謂フ
- 一 市町村(町村制ヲ施行セザル地ニ在リテハ之ニ準ズベキモノ)ノ一部ニシテ命令ヲ以テ定ムル區域内ニ居住スル者
  - 二 官公署、學校、事務所、營業所、工場、事業場又ハ之ニ準ズベキモノニ勤務スル者
  - 三 産業組合、商業組合、工業組合其ノ他同業者ノ組織スル團體ノ構成員
  - 四 前各號ニ掲グル者ノ外命令ヲ以テ定ムル者
- 第二條 國民貯蓄組合ノ斡旋ヲ爲ス貯蓄ハ左ノ方法ニ依ルベシ
- 一 郵便貯金又ハ郵便年金ノ掛金若ハ簡易生命保險ノ保險料ノ拂込
  - 二 銀行ヘノ預ケ金又ハ定期積金
  - 三 信託會社ヘノ金錢信託
  - 四 産業組合其ノ他命令ヲ以テ定ムル産業團體ヘノ貯蓄

金

- 五 無盡會社ヘノ無盡ノ拂込
  - 六 生命保險ノ保險料ノ拂込
  - 七 國債、貯蓄債券又ハ報國債券ノ買入
  - 八 地方債又ハ社債(特別ノ法令ニ依リ設立セラレタル法人ニシテ會社ニ非ザルモノノ發行スル債券ヲ含ミ前號ニ掲グル債券ヲ除ク以下同ジ)ニシテ命令ヲ以テ定ムルモノノ買入
  - 九 前項ノ貯蓄ノ斡旋ノ方法ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
- 第三條 國民貯蓄組合ヲ組織シタルトキハ組合ノ代表者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ組合規約ヲ主務大臣ニ届出ヅベシ組合規約ヲ變更シタルトキ亦同シ
- 國民貯蓄組合解散シタルトキハ組合ノ代表者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ旨ヲ主務大臣ニ届出ヅベシ
- 第四條 國民貯蓄組合ノ斡旋ニ依ル銀行預金、貯蓄銀行預金、産業組合貯金其ノ他ノ預金又ハ合同運用信託ニシテ命令ヲ以テ定ムルモノノ元本ガ三千圓ヲ超エザルトキハ其ノ利子又ハ利益ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ甲種ノ配當利子所得ニ對スル分類所得稅ヲ免除ス國民貯蓄組合ノ斡旋ニ依リ買入レ命令ノ定ムル所ニ依リ郵便官署ニ保管ヲ委託シ又ハ登錄ヲ爲シタル國債、地方債又ハ社債ニシテ額面金額三千圓ヲ超エザルモノノ

利子ニ付亦同ジ

前項ノ場合ニ於テ預金又ハ合同運用信託ガ組合ノ代表者ノ名義ヲ以テ爲サルルトキハ元本ハ組合員毎ニ其ノ預金又ハ合同運用信託ニ付之ヲ計算ス

前項ノ規定ハ第一項ノ場合ニ於テ國債、地方債又ハ社債ノ保管ノ委託又ハ登録ガ組合ノ代表者ノ名義ヲ以テ爲サルル場合ノ額面金額ノ計算ニ之ヲ準用ス前三項ノ元本及額面金額ハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ計算ス

**第五條** 政府ハ豫算ノ範圍内ニ於テ國民貯蓄組合ニ補助金又ハ獎勵金ヲ交付スルコトヲ得

**第六條** 主務大臣必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ第一條各號ノ一ニ掲グル者ニ對シ國民貯蓄組合ヲ組織スベキコトヲ命ズルコトヲ得

**第七條** 主務大臣ハ國民貯蓄組合ノ代表者ニ對シ貯蓄ニ關シ報告ヲ爲サシメ、帳簿書類其ノ他ノ物件ノ検査ヲ爲シ又ハ組合ノ代表者ノ改任其ノ他監督上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

**第八條** 主務大臣ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ本法ニ定ムル職權ノ一部ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得  
地方長官ハ前項ノ規定ニ依リ委任ヲ受ケタル職權ニ屬スル事務ノ一部ヲ市町村長(市制第六條及第八十二條第三項ノ市ニ在リテハ區長町村制ヲ施行セザル地ニ在

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行ノ際現ニ存スル團體ニシテ第一條各號ノ一ニ掲グル者ヲ以テ組織シ戰時(戰爭ニ準ズベキ事變ノ場合ヲ含ム)ニ於ケル國民貯蓄ノ増強ニ資スル爲メ第二條ニ掲グル貯蓄ノ斡旋ヲ爲スモノハ之ヲ本法ノ國民貯蓄組合ト看做ス

前項ノ國民貯蓄組合ノ代表者ハ本法施行後三月以内ニ第三條第一項ノ規定ニ準ジ組合規約ヲ主務大臣ニ届出ツベシ

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

國民貯蓄組合法施行規則

(昭和十六年六月十八日)  
大藏省令第三十三號

改正 昭和十六年十一月二十五日大藏省令第六十四號  
昭和十七年三月三十一日大藏省令第十七號

**第一條** 國民貯蓄組合法(以下法ト稱ス)第一條第一號ノ區域ハ一箇又ハ數箇ノ町内會、部落會、隣保班又ハ之ニ準ズベキモノノ地域トス

**第二條** 法第一條第四號ニ規定スル者ハ左ニ掲グルモノトス

リテハ之ニ準ズベキモノ)ヲシテ取扱ハシムルコトヲ得

**第九條** 貯蓄銀行ニ非ザル銀行ハ貯蓄銀行法第一條ノ規定ニ拘ラズ命令ノ定ムル所ニ依リ國民貯蓄組合ノ斡旋ニ依ル場合ニ限り同法第一條第一項第一號又ハ第三號ニ掲グル業務ヲ營ムコトヲ得

所得税法第十一條、第二十一條及第二十九條中銀行貯蓄預金ニ關スル規定ハ前項ノ規定ニ依リ受入レタル預金ニハ之ヲ適用セズ

**第十條** 貯蓄銀行ニ非ザル銀行ハ命令ノ定ムル所ニ依リ前條第一項ノ規定ニ依リ受入レタル金額ノ三分ノ一以上ノ金額ニ相當スル國債ヲ供託スベシ

前條第二項ノ預金ヲ爲シタル者ハ其ノ預金ニ關シテハ前項ノ規定ニ依リテ供託シタル國債ニ付他ノ債權者ニ先手辨濟ヲ受クルノ權利ヲ有ス

前項ノ規定ニ依リ優先辨濟ヲ受クル範圍ハ預金額ヲ限度トス

**第十一條** 國民貯蓄組合ノ代表者若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキハ三百圓以下ノ過料ニ處ス

**第十二條** 本法ニ規定スルモノノ外國國民貯蓄組合ニ關スル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

一 在郷軍人會、青年團、少年團、婦人團體其ノ他之ニ準ズル團體ノ團員又ハ會員

二 學生生徒又ハ兒童

三 宗教團體ノ檀徒、教徒又ハ信徒

四 其ノ他大藏大臣ノ指定スル者

**第三條** 法第二條第一項第四號ノ產業團體ハ商業組合、工業組合、貿易組合、漁業協同組合及自動車運送事業組合トス

**第三條ノ二** 法第二條第一項第八號ニ規定スル命令ヲ以テ定ムルモノハ地方債又ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル社債(特別ノ法令ニ依リ設立セラレタル法人ニシテ會社ニ非ザルモノノ發行スル債券ヲ含ミ貯蓄債券及報國債券ヲ除ク以下同ジ)ニシテ其ノ買入ノ日前二年以内ニ發行シタルモノトス

一 元本ノ償還及利子ノ支拂ニ付政府ノ保證アルモノ  
二 特別ノ法令ニ依リ設立セラレタル法人ノ發行スルモノ

三 其ノ他大藏大臣ノ指定スルモノ

**第四條** 法第二條第一項第九號ノ規定ニ依ル貯蓄ノ方法トシテ勤務先ヘノ預ケ金及滿洲國債ノ買入ヲ指定ス

國民貯蓄組合ガ前項ノ預ケ金ノ斡旋ヲ爲サントスルトキハ組合長地方長官ノ認可ヲ受クベシ

附 錄 (國民貯蓄組合法)

前項ノ認可ヲ受ケントスルトキハ當該勤務先ノ名稱、事業主、事業ノ種目及勤務者數並ニ當該組合ノ組合員數、貯蓄增加目標額等ヲ記載シタル申請書ニ組合規約並ニ當該勤務先ガ會社ノ場合ニ在リテハ最終ノ貸借對照表及損益計算書ヲ添附シテ地方長官ニ提出スベシ

第五條 國民貯蓄組合ノ幹旋ニ依ル貯蓄ハ組合長各組合員ノ名義ヲ以テ之ヲ爲サシムベシ

前項ノ貯蓄ニ關スル通帳又ハ證書ハ各組合員ヲシテ之ヲ保管セシムベシ但シ法令又ハ組合規約ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ前條第一項ノ規定ニ拘ラズ組合規約ノ定ムル所ニ依リ組合ノ代表者ノ名義ヲ以テ貯蓄ヲ爲スコトヲ得

- 一 資本金千萬圓以上ノ法人ノ事務所、營業所若ハ之ニ準ズベキモノ又ハ勤務者數當時千人以上ノ工場、事業場若ハ之ニ準ズベキモノニ於ケル組合ガ貯蓄ノ幹旋ヲ爲ストキ
- 二 組合長地方長官ノ認可ヲ受ケタルトキ

二二二

前項第一號ノ貯蓄ノ幹旋ヲ爲サントスルトキ又ハ前項第二號ノ認可ヲ受ケントスルトキハ當該名義人ノ住所、職業及氏名並ニ組合員數、貯蓄增加目標額、貯蓄ノ方法等ヲ記載シタル届出書又ハ申請書ニ組合規約ヲ添附シテ地方長官ニ提出スベシ

第七條 組合ノ幹旋ニ依ル貯蓄ニ關スル通帳又ハ證書ノ名義ニハ國民貯蓄組合ノ組合員又ハ代表者タルコトヲ表示スベシ

第八條 法第三條第一項ノ規定ニ依ル組合規約ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

- 一 名稱及事務所所在地
- 二 組合員タル資格ニ關スル規定
- 三 組合員ノ加入及脱退ニ關スル規定
- 四 組合長其ノ他組合ノ代表者ノ選任及解任ニ關スル規定

五 貯蓄ノ方法及業務ノ執行ニ關スル規定

六 貯蓄計畫ニ關スル規定

第九條 國民貯蓄組合ハ其ノ名稱中ニ國民貯蓄組合ナル文字ヲ用フベシ

第十條 國民貯蓄組合ニハ之ヲ管理シ代表スル組合長ヲ置クコトヲ要ス

國民貯蓄組合ハ組合長選任ノ日ヨリ二週間以内ニ之ヲ地方長官ニ届出ヅベシ組合長ノ解任ニ付亦同ジ

第十一條 國民貯蓄組合ハ組合員ノ貯蓄ノ幹旋及之ニ附隨スル業務以外ノ業務ヲ營ムコトヲ得ズ

第十二條 組合規約ハ國民貯蓄組合ノ組合員タラントスル者ノ同意ヲ得テ之ヲ定ムベシ

第十三條 國民貯蓄組合ヲ組織シタルトキハ組合長組合規約成立ノ日ヨリ二週間以内ニ組合規約ニ設立ノ年月日、組合員數、組合ノ幹旋ヲ爲ス貯蓄ノ見込金額等ヲ記載シタル書類ヲ添附シ地方長官ニ提出スベシ

國民貯蓄組合規約ヲ變更シタルトキハ組合長組合規約變更ノ日ヨリ二週間以内ニ其ノ内容ヲ記載シタル届出書ヲ地方長官ニ提出スベシ

第十四條 國民貯蓄組合ハ其ノ幹旋ヲ爲サントスル貯蓄

附 錄 (國民貯蓄組合法)

二二三

ニ付毎年四月一日ヨリ翌年三月三十一日ニ至ル一箇年間ノ貯蓄增加目標額ヲ定メ其ノ達成ニ必要ナル貯蓄計畫ヲ樹立スベシ

第十五條 國民貯蓄組合ノ組合長ハ其ノ幹旋ニ依ル各組合員毎ノ貯蓄現在高ヲ記載シタル組合貯蓄臺帳ヲ作成シ之ヲ事務所ニ備付クベシ

前項ノ組合貯蓄臺帳ニハ各組合員ノ貯蓄スル金錢若ハ買入ルル有價證券ガ組合ヲ通ジテ授受セラルル場合又ハ貯蓄ニ關スル契約ガ組合ヲ通ジテ成立シ且貯蓄ノ拂戻若ハ有價證券ノ賣却ニ付組合長ノ同意ヲ要スル場合ノ貯蓄ニ限リ之ヲ記載スルモノトス

第十六條 國民貯蓄組合ノ組合長ハ九月及翌年三月ノ各月末現在ニ依リ組合員數及貯蓄金額等ヲ記載シタル國民貯蓄組合現況報告書ヲ各翌月十五日迄ニ地方長官ニ提出スベシ

第十七條 國民貯蓄組合ヲ解散シタルトキハ組合長解散ノ日ヨリ二週間以内ニ解散ノ年月日、解散ノ事由及各組合員ノ貯蓄ノ處理方法等ヲ記載シタル解散届ヲ地方長官ニ提出スベシ

第十七條ノ二 會社ノ營業所又ハ之ニ準ズベキモノニ於ケル國民貯蓄組合ノ組合長ハ當該組合ノ幹旋ニ依ル貯蓄ニシテ會社經理統制令施行規則第二十四條第一項第

- 一 號(乙)ノ規定ニ該當スルモノニ付テハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ限リ當該有價證券ノ賣却又ハ當該郵便貯金、銀行預金若ハ信託シタル金錢ノ拂戻ニ付承認ヲ爲スコトヲ得
  - 一 組合員退職ニ因リ組合ヲ脱退シタルトキ
  - 二 當該貯蓄ヲ營業所又ハ之ニ準ズベキモノニ於ケル他ノ國民貯蓄組合ノ貯蓄(會社經理統制令施行規則第二十四條第一項第一號(乙)ノ規定ニ該當スルモノ)トシテ繼續スルトキ
  - 三 當該貯蓄ニ關スル證券又ハ通帳若ハ證書ヲ會社經理統制令施行規則第二十四條第一項第一號(甲)ノ規定ニ準ジ當該會社ニ於テ保管スルモノトスルトキ
  - 四 組合員又ハ家族ノ病氣、災害其ノ他己ムヲ得ザル事由アリト認ムルトキ
- 第十八條** 法第四條ノ規定ニ依リ利子又ハ利益ニ付分類所得稅ノ免除ヲ受クル預金、合同運用信託、國債、地方債又ハ社債ハ第二十條各號ニ規定スルモノニシテ左ノ要件ヲ備フルモノナルコトヲ要ス
- 一 組合員數當時十人以上ヲ有スル國民貯蓄組合ノ幹旋ニ依ルモノナルコト
  - 二 第十五條ノ組合貯蓄臺帳ニ記載セラルベキモノナルコト

- 前項第一號ノ組合ハ毎年一回同號ニ該當スルモノナルコトヲ證スル市町村長(市制第六條及第八十二條第三項ノ市ニ在リテハ區長町村制ヲ施行セザル地ニ在リテハ之ニ準ズベキモノ以下同ジ)ノ證明書ヲ利子又ハ利益ノ支拂者ニ提出スベシ但シ陸海軍ノ官衙(學校ヲ含ム以下同ジ)又ハ工場事業場管理令ニ依リ陸軍大臣若ハ海軍大臣ノ管理スル工場事業場ニ於ケル組合ニ在リテハ當該官衙ノ長其ノ他陸軍大臣若ハ海軍大臣ノ指定スル者又ハ當該工場事業場ヲ管理スル官衙ノ長若ハ其ノ代理官ノ證明書ヲ支拂者ニ提出スルモノトス
- 第十九條** 法第四條第一項ノ其ノ他ノ預金ハ商業組合、工業組合、貿易組合、漁業協同組合又ハ自動車運送事業組合ニ對スル貯金トス
- 第二十條** 法第四條第一項ノ規定ニ依リ分類所得稅ノ免除ヲ受クベキ銀行預金、產業組合貯金、前條ノ貯金、合同運用信託、國債、地方債又ハ社債ハ左ニ掲グルモノナルコトヲ要ス
- 一 契約期間二年以上ノ定期預金(契約ノ更新ニ依リ二年以上ノ期間繼續スベキコトヲ約シタル定期預金ヲ含ム)
  - 二 拂戻ニ付期限ヲ定ムル預金契約ノ期間二年以上ニシテ最終ノ預ケ入ノ時ヨリ拂戻ノ期限ニ至ル期間一

年以上ナルコトヲ約シタル据置貯金

- 三 信託期間三年以上ノ合同運用信託
  - 四 國民貯蓄組合ヲ通ジテ郵便官署ニ保管ヲ委託シ又ハ登錄ヲ爲シタル三分半利付國債ニシテ二年以上ノ期間其ノ交付、賣却若ハ除却ノ請求又ハ讓渡ヲ爲サザルコトヲ約シタルモノ
  - 五 國民貯蓄組合ヲ通ジテ郵便官署ニ保管ヲ委託シ又ハ登錄ヲ爲シタル地方債又ハ社債ニシテ二年以上ノ期間其ノ交付若ハ除却ノ請求又ハ讓渡ヲ爲サザルコトヲ約シタルモノ
- 第二十一條** 法第四條第一項ノ元本額ハ支拂ヲ受クベキ預金ノ利子金額又ハ合同運用信託ノ利益金額ヲ年額ニ換算シタルモノヲ當該預金又ハ合同運用信託ノ年利率又ハ年利率ニ相當スル利率若ハ收益交付率ヲ以テ除シ之ヲ計算ス
- 第二十二條** 同一ノ組合員ガ二口以上ノ第二十條第一號乃至第三號ノ預金又ハ合同運用信託ヲ有スルトキハ法第四條第一項ノ元本額ハ此等ノ銀行預金、貯蓄銀行預金、產業組合貯金、第十九條ノ貯金又ハ合同運用信託ヲ各別ニ合算シタルモノニ依リ之ヲ計算ス
- 同一ノ組合員ガ同一ノ郵便貯金通帳ヲ以テ保管ノ委託ヲ爲シタル二以上ノ第二十條第四號ノ國債ヲ有スルト

- キハ法第四條第一項ノ額面金額ハ各國債ノ額面金額ヲ合算シタルモノニ依リ之ヲ計算ス
- 同一ノ組合員ガ登錄ヲ爲シタル二以上ノ第二十條第四號ノ國債ヲ有スル場合亦同ジ
- 同一ノ組合員ガ二以上ノ第二十條第五號ノ地方債ヲ有スルトキハ法第四條第一項ノ額面金額ハ各地方債ノ額面金額ヲ合算シタルモノニ依リ之ヲ計算ス同一ノ組合員ガ二以上ノ第二十條第五號ノ社債ヲ有スル場合亦同ジ
- 第二十三條** 法第四條第一項ノ規定ニ依リ預金、合同運用信託又ハ國債ノ利子又ハ利益ニ付分類所得稅ノ免除ヲ受ケントスル者ハ當該預金、合同運用信託又ハ國債ガ組合貯蓄臺帳ニ記載セラルルモノナルコトヲ證スル組合長ノ證明書ヲ支拂者ニ提出スベシ
- 法第四條第一項ノ規定ニ依リ地方債又ハ社債ノ利子ニ付分類所得稅ノ免除ヲ受ケントスル者ハ當該地方債又ハ社債ガ組合貯蓄臺帳ニ記載セラルルモノナルコト及至各組合員ノ名義ヲ以テ爲サル貯蓄ナルトキハ當該地方債又ハ社債ノ額面金額ガ當該組合ノ幹旋ニ依リ買入レ分類所得稅ノ免除ヲ受クル他ノ地方債又ハ社債ノ額面金額(以下他ノ地方債又ハ社債ノ額面金額ト稱ス)ト合算シテ七千圓以下ナルコトヲ證スル組合長ノ證明



書ヲ支拂者ニ提出スベシ

**第二十四條** 國民貯蓄組合ノ代表者ノ名義ヲ以テ預金若ハ合同運用信託ヲ爲シ又ハ國債、地方債若ハ社債ノ保管ノ委託若ハ登錄ヲ爲ス場合ニ於テ法第四條第一項ノ規定ニ依リ分類所得稅ノ免除ヲ受ケントスルトキハ各組員別ノ明細書(地方債又ハ社債ニ關スルトキハ他ノ地方債又ハ社債ノ額面金額ヲ附記スベシ)ヲ支拂者ニ提出スベシ但シ一組員ノ支拂者毎ノ貯蓄現在高(地方債又ハ社債ニ關スルトキハ他ノ地方債又ハ社債ノ額面金額ヲ合算シタルモノ)ガ二千五百圓未滿ノモノニ付テハ其ノ組員數及貯蓄ノ合計金額ノミヲ記載スルヲ以テ足ルモノトス

**第二十五條** 法第四條第一項ノ規定ニ依リ預金又ハ合同運用信託ノ利子又ハ利益ニ付分類所得稅ノ免除ヲ受ケタル者ガ其ノ契約ノ日ヨリ二年以内(合同運用信託ノ場合ハ當該信託契約ノ日ヨリ三年以内)ニ於テ全部又ハ一部ノ元本ノ拂戻ヲ受ケタルキハ當該元本ヨリ生ジタル利子又ハ利益ニ付免除ヲ受ケタル分類所得稅額ニ相當スル金額ヲ其ノ拂戻ノ際支拂者ニ於テ徵收スベシ前項ノ場合ニ於テ拂戻ヲ受ケタル元本ニ付拂戻ノ際未ダ支拂ヲ爲サザル利子又ハ利益アルトキハ其ノ利子又ハ利益ニ付テハ分類所得稅ノ免除ハ之ヲ爲サズ

前二項ノ規定ハ法第四條第一項ノ規定ニ依リ國債、地方債又ハ社債ノ利子ニ付分類所得稅ノ免除ヲ受ケタル者ガ其ノ保管ノ委託又ハ登錄ノ日ヨリ二年以内ニ當該國債、地方債又ハ社債ノ交付、賣却若ハ除却ノ請求又ハ讓渡ヲ爲ス場合ニ付之ヲ準用ス

**第二十六條** 國民貯蓄組合法第五條ノ規定ニ依リ補助金又ハ獎勵金ノ交付ヲ受ケタルトキハ之ガ收支計算ヲ明ニスベシ

**第二十七條** 大藏大臣第六條ノ規定ニ依リ國民貯蓄組合ノ組織ヲ命ズル場合ニ於テハ組合ヲ組織スベキ者ノ範圍及組織スベキ期限ヲ指定シタル命令書ヲ組員タルベキ者ニ送付ス

**第二十八條** 法第七條ノ規定ニ依リ帳簿書類其ノ他ノ物件ノ検査ヲ爲ス當該官吏ハ其ノ身分ヲ示ス別記様式ニ依リ證券ヲ携帶スベシ

**第二十九條** 國民貯蓄組合ノ幹旋ニ依ル合同運用信託ニ限リ信託業法施行細則第八條ノ規定ニ依リ制限ハ之ヲ三百圓未滿トス

**第三十條** 貯蓄銀行ニ非ザル銀行法第九條ノ規定ニ依リ貯蓄銀行法第一條第一項第一號又ハ第三號ニ掲グル業務ヲ營マントスルトキハ業務ノ種類及方法ヲ記載シタル届出書ヲ大藏大臣ニ提出スベシ

貯蓄銀行法施行細則第二條及第三條ノ規定ハ前項ノ届出書ニ付之ヲ準用ス

**第三十一條** 貯蓄銀行ニ非ザル銀行前條ノ業務ノ種類又ハ方法ヲ變更セントスルトキハ其ノ内容及事由ヲ記載シタル届出書ヲ大藏大臣ニ提出スベシ

**第三十二條** 貯蓄銀行ニ非ザル銀行法第九條ノ規定ニ依リ預金ヲ受入レタルトキハ別ニ帳簿ヲ備ヘ其ノ元利ノ受拂ニ關スル事項ヲ記載スベシ

**第三十三條** 貯蓄銀行法第九條第三項及貯蓄銀行法施行細則第五條乃至第八條ノ規定ハ法第十條第一項ノ規定ニ依ル國債ノ供託ニ付之ヲ準用ス

**第三十四條** 銀行法施行細則第二十九條ノ規定ハ第三十五條第三十六條並ニ前條ノ規定ニ於テ準用スル貯蓄銀行法施行細則第七條及第八條ノ規定ニ依リ貯蓄銀行ニ非ザル銀行ノ大藏大臣ニ提出スベキ書類ニ付之ヲ準用ス

**第三十五條** 國民貯蓄組合ノ提出スベキ書類ハ左ノ各號ニ該當スル場合ニ於テ其ノ定ムル所ニ依ルノ外之ヲ一通作成シ當該組合ノ主タル事務所在地ヲ管轄スル市町村長ヲ經テ地方長官ニ提出スベシ  
一 陸海軍ノ官衙ニ於ケル組合ニ在リテハ之ヲ二通作成シ大藏大臣ニ提出スベシ

二 工場事業場管理令ニ依リ陸軍大臣ノ管理スル工場事業場ニ於ケル組合ニ在リテハ之ヲ二通作成シ大藏大臣ニ提出スベシ但シ勤務者數當時千人以上ノ工場事業場ニ於ケル組合ニ在リテハ第十三條、第十六條及第十七條ノ規定ニ依リ提出スベキ書類ニ付テハ之ヲ三通トス

三 工場法、鑛業法又ハ砂鑛法ノ適用ヲ受ケル工場又ハ事業場ニ於ケル組合ニ在リテハ前號但書ノ書類ハ之ヲ二通作成シ當該組合ノ主タル事務所在地ヲ管轄スル市町村長ヲ經テ地方長官ニ提出スベシ但シ勤務者數當時千人以上ノ工場又ハ事業場ニ於ケル組合ニ在リテハ夫々一通ヲ加フルモノトス

四 資本金千萬圓以上ノ會社ノ事務所、營業所又ハ之ニ準ズベキモノニシテ其ノ役員及職員ノ數當時百人以上ノモノニ於ケル組合ニ在リテハ第十三條、第十六條及第十七條ノ規定ニ依リ提出スベキ書類ハ之ヲ二通作成シ當該組合ノ主タル事務所在地ヲ管轄スル市町村長ヲ經テ地方長官ニ提出スベシ

**第三十六條** 第十條第二項及第十二條ノ規定ハ陸海軍ノ官衙ニ於ケル國民貯蓄組合ニ之ヲ適用セズ  
本令ニ地方長官トアルハ陸海軍ノ官衙又ハ工場事業場管理令ニ依リ陸軍大臣若ハ海軍大臣ノ管理スル工場事

附 錄 (國民貯蓄組合法)

業場ニ於ケル國民貯蓄組合ニ在リテハ之ヲ大藏大臣ト  
ス

附 則 (昭和十六年十一月二十五日)  
大藏省令第六十四號

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
附 則 (昭和十七年三月三十一日)  
大藏省令第十七號

本令ハ昭和十七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

主務大臣ノ職權事項ヲ地方長官ニ行ハシ  
ムル件

(昭和十六年六月十八日)  
勅令第七百一十一號

朕國民貯蓄組合法第八條第一項ノ規定ニ依リ主務大臣ノ  
職權ニ屬スル事項ヲ地方長官ヲシテ行ハシムルノ件ヲ裁  
可シ茲ニ之ヲ公布セシム

國民貯蓄組合法第七條ニ規定スル事項ハ同法第八條第一  
項ノ規定ニ依リ國民貯蓄組合ノ主タル事務所在地ヲ管  
轄スル地方長官ヲシテ之ヲ行ハシム但シ陸海軍ノ官衙(學  
校ヲ含ム)又ハ工場事業場管理令ニ依リ陸軍大臣若ハ  
海軍大臣ノ管理スル工場事業場ニ於ケル國民貯蓄組合ニ  
付テハ此ノ限ニ在ラズ

前項ニ掲グル事項ハ事宜ニ依リ大藏大臣ニ於テ之ヲ行フ  
附 則

本令ハ昭和十六年六月二十日ヨリ之ヲ施行ス

國民貯蓄組合法施行期日ノ件

(昭和十六年六月十八日)  
勅令第七百一十號

朕國民貯蓄組合法施行期日ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セ  
シム

國民貯蓄組合法ハ昭和十六年六月二十日ヨリ之ヲ施行ス

國民貯蓄組合取扱規程

(昭和十六年六月十八日)  
大藏省訓令第十一號

第一條 國民貯蓄組合法ノ施行ニ關スル事務ハ本規程ニ  
依リ地方長官之ヲ取扱フベシ

第二條 地方長官國民貯蓄組合法施行規則(以下規則ト  
稱ス)第二條第四號ノ指定ヲ必要ト認ムルトキハ左ノ  
事項ヲ具シ之ヲ稟請スベシ

- 一 指定スベキ者
- 二 指定ヲ必要トスル事由
- 三 指定スベキ者ヲ以テ組織セラルル組合ノ見込數、  
組合員見込數及貯蓄見込高
- 四 其ノ他參考トナルベキ事項

第三條 地方長官規則第四條第二項ノ規定ニ依リ認可ヲ  
爲シタル場合ニ於テ當該國民貯蓄組合ガ左ノ各號ノ一  
ニ該當スルトキハ認可申請書ノ寫ト共ニ當該勤務先ニ

於ケル預ケ金ノ管理方法、預ケ金ノ利率、利子ノ支拂  
方法、拂戻ノ方法其ノ他參考トナルベキ事項ヲ具シ之  
ヲ報告スベシ

一 組合員數當時五百人以上ノ組合  
二 一ケ年間ニ於ケル貯蓄ノ増加見込高五萬圓以上ノ  
組合

第四條 地方長官規則第六條第一項ノ規定ニ依リ認可ヲ  
爲シタルトキハ當該國民貯蓄組合ノ名稱、並ニ組合員  
ノ資格、員數、貯蓄金額、貯蓄ノ方法等ヲ具シ之ヲ報  
告スベシ

第五條 地方長官國民貯蓄組合法(以下法ト稱ス)第六  
條ノ規定ニ依リ國民貯蓄組合ノ組織ヲ命ズルコトヲ必  
要ト認ムルトキハ左ノ事項ヲ具シ之ヲ稟請スベシ

一 命令ヲ必要トスル事由  
二 組合ヲ組織スベキ者ノ範圍及組織スベキ期限

第六條ノ規定ニ基ク命令ニ依リ國民貯蓄組合ノ組織  
セラレタルトキハ遲滞ナク組合員名簿及組合規約ヲ具  
シ之ヲ報告スベシ

第六條 地方長官ハ別記第一號様式ニ依リ國民貯蓄組合  
現勢報告書及國民貯蓄組合貯蓄管理狀況報告書ヲ以テ  
六月、九月、十二月及翌年三月ノ各月末現在ニ於ケル  
國民貯蓄組合ノ狀況ヲ各翌月末迄ニ報告スベシ

附 錄 (國民貯蓄組合法)

第七條 左ニ掲グル國民貯蓄組合規則第十三條第十六條  
又ハ第十七條ノ規定ニ依リ書類ヲ提出シタルトキハ地  
方長官ハ其ノ一通ヲ大藏大臣ニ送付スベシ

一 資本金千萬圓以上ノ會社ノ事務所營業所ニシテ其  
ノ役員及職員ノ數當時百人以上ノモノニ於ケル組合  
二 工場法ノ適用ヲ受クル工場ニシテ勤務者數當時千  
人以上ノモノニ於ケル組合

第八條 地方長官法第七條ノ規定ニ依リ國民貯蓄組合ノ  
代表者ノ改任ヲ命ズタルトキハ之ヲ報告スベシ

規則第六條ノ規定ニ依リ代表者ノ名義ヲ以テ貯蓄ヲ爲  
ス組合ニ在リテハ前項ノ報告書ニ組合ノ幹旋ニ依リ貯  
蓄ノ現在高及其ノ管理狀況ヲ記載シタル書類ヲ添附ス  
ベシ

第九條 地方長官ハ別記第二號様式ニ依リ法第七條ノ規  
定ニ依リ國民貯蓄組合ノ検査事蹟ヲ翌月十日迄ニ報告  
スベシ

第十條 地方長官ハ別記第三號様式ニ準ジ國民貯蓄組合  
ノ名稱、事務所所在地、代表者ノ氏名、組合員數、貯  
蓄金額等ヲ記載シタル國民貯蓄組合臺帳ヲ備付クベシ

前項ノ國民貯蓄組合臺帳ニ關スル事務ハ當該組合ノ主  
タル事務所所在地ヲ管轄スル市町村長ヲシテ之ヲ取扱  
ハシムルモノトス

# 規法濟經制統式除加府阪大令

規法全係關法員動總家國  
 規法全係關法置措時臨品入出輸  
 法店商・合組業工・合組業商・法整調金資時臨  
 省工商・法稅新・制統業產・法理管替爲國外  
 示告・令府阪大・價物定公省生厚・省林農

(行發回二月每錄追)濟除加迄號一十二頁千五約版菊

錢十五稅郵 (圖八拾價定)

<p>配給元                  東京市神田區                  淡路町二丁目九                  日本出版配給株式會社                  會員零號 一〇七〇一〇</p>	<p>發行所                  大阪市北區會根崎                  上一丁目六〇番地                  銀行問題研究會                  電話 大二三〇五番                  攝津 穴原 四〇一六番</p>	<p>認承協文                  了80081號                  不許                  著作權                  所有                  製                  編者 大坂市北區會根崎上一丁目六〇番地 伊藤由三郎                  發行者 大坂市北區會根崎上一丁目六〇番地 伊藤由三郎                  印刷者 大坂市住吉區山王町三丁目五番地 上田庄之助</p>	<p>昭和十七年六月二十五日印刷                  昭和十七年七月一日發行                  戰時統制法令叢書第七輯                  昭和十七年五月改正                  大東亞戰爭完遂法令                  定價 貳圓</p>
--	---	--	---

正改月二年七十和昭

# 社會經濟統制令 解 說 令 制 統 金 貨

得心載記・式書・令法・附

威權も最るす關に令制統金貨、令制統理經社會の正改月二年本  
。む望をとこんれらへ備に上机を本一非是、てしと書説解るあ  
錢八料送・錢十八圓一價定・頁〇〇二・五A(會協化文版出本日)  
濟認承行發

正改月三年七十和昭

# 臨時資金調整法 解 說 法 整 調 金 資 時 臨

表準標整調金資業事・附

嚴、れき化強は則罰るす對に者反違法本てしと機を正改の回今  
そと旨趣の法本てめ更。たつなにとこるれき斷處て以を針方罰  
。うらあが要必のるす議認を容内の  
錢六料送・錢十八圓一價定・頁〇〇一・五A(會協化文版出本日)  
濟認承行發

正改月四年七十和昭

# 法務令 解 說 令 整 調 務 勞 令 法 挿 入 式

附・勞務者募集規則・國民勞動報國協力令

書・示告・令法保關、し明解に體的具且的的全を令整調務勞正改  
國報勞動國民、則規集募者務勞、外るす錄收を等得心載記・式  
。す載登を令力協  
錢八料送・錢十三圓一價定・頁〇七一・六B(會協化文版出本日)  
濟認承行發

五〇三三北話電 會究研題問行銀 崎根會區北市阪大  
六一〇四阪大替振 地番〇六目丁一上

本邦唯一の統制經濟法令の一大鳥瞰圖!!  
毎月二回(十五日・三十日發行)

# 統制經濟時報

一部 四十錢  
半年 四圓八十錢  
一年 九圓六十錢

本誌は官報掲載の國家總動員法令、統制經濟關係法令を細大洩らさず全部收  
録し、且これに一々懇切明快なる解説を附すると共に、商工省及び農林省通  
牒、最近統制違反判決例、公定價格品名(大阪府公價品名附)等を掲載せる  
を以て、本誌一部を机上に備へられんか、複雑難解なる時局法令と雖も、そ  
の全貌は正に一目瞭然である。官廳、地方自治團體はもとより學校、組合、  
銀行、會社、各種團體等は即刻本誌を備へられたい。

所 行 發

五〇三三北話電 會究研題問行銀 崎根會區北市阪大  
番六一〇四阪大替振 地番〇六目丁一上

著名二の説解法税

(法税載登)

物品税  
遊興飲食税  
酒飲料税  
清涼飲料税  
砂糖消費税  
入場税  
通築行  
建牌紙  
骨牌紙  
印紙税  
通築行  
建牌紙  
骨牌紙  
印紙税

消費税法解説

昭和十六年十二月改正

B六・三三〇頁  
定價一圓六十錢  
送料八錢

(法税載登)

所得税法  
所得税法  
法人税法  
營業税法  
相續税法  
臨時利得税法  
臨時租稅措置法  
廣告稅  
瓦斯稅  
電氣稅  
馬券稅

新税法解説

昭和十七年度改正

B六・三〇〇頁  
定價一圓八十錢  
送料八錢

大坂市北區會根崎一丁目六番地 銀行問題研究会 電話北三〇五 大阪大替振 六〇一

戰時統制法令叢書第四輯(日本出版文化協會發行承認濟)

法令 重要産業團體令便覽

B六・三〇〇頁・定價一圓八十錢・送料八錢

本書は巷間に見る如き單なる重要産業團體令の解説書ではない。統制會員及び統制組合員の名簿を収録し、且各統制會及び統制組合の定款、統制規程を輯めて、その利用價值を倍加せしめたからである。會員及び組合員は勿論のこと、苟くも會員及び組合員と何等かの取引關係を有せられる各位及び通信販賣の各位にとつては、本書こそ絶對不可缺の寶典であると言へよう。

戰時統制法令叢書第八輯(日本出版文化協會發行承認濟)

近刊

法令 金融統制團體令便覽

B六・二〇〇頁・定價一圓五十錢・送料八錢

金融統制團體令の基本精神を明確にし、金融統制會、業態別統制會、統制組合、地方金融協議會の性格、組織、使命等を詳述且關係法規、定款等を網羅して、金融部門より爲す國策協力の徹底を期す。

大坂市北區會根崎一丁目六番地

銀行統制 論濟經制 叢法濟經 規法濟經 報時濟經 會究研題問行銀 電話北三〇五 大阪大替振 六〇一

328.1  
G464

# 昭和十七年版 統制法全書

本書は國家總動員法、輸出入品等臨時措置法、物資統制、金融統制、産業統制等吾人の日常生活を規正する統制經濟關係法令及び時局關係法令の一大集成にして、戰時下日本國民にとり絶對必備の寶典と稱すべきである。

日本出版文化協會  
發行 承認 濟會  
定價 B 六・七〇〇  
送料 三圓八十錢

## 第七十七 第七十八 第七十九 議會新法律

大東亞戰爭下前後三回に亘る決戰議會通過の新法律を各省別に見易く分類収録し、且これに一々立法趣旨と解説を附して、複雑難解なる時局法令と雖も一讀忽ち理解し得る如く編纂した。

日本出版文化協會  
發行 承認 濟會  
定價 B 六・二〇〇  
送料 一圓五十錢

## 昭和十六年度 經濟統制法判例年鑑

昭和十六年度に於ける重なる經濟統制法判例二百を掲げ、統制法規の適用に關する幾多の疑義を解明した。蓋し國策協力は先づ本書一冊を備ふることから發足すると謂ふも過言であるまい。

日本出版文化協會  
發行 承認 濟會  
定價 A 五・二三〇  
送料 二圓八錢

發行所 大坂市北區會根崎 上丁一丁目六〇番地 銀行問題研究會  
電話 北三三五〇 大阪 六一〇四

終

2.00